

福岡県教育センター ICTを活用した実践事例集

MAIN MENU ● 小学校 ● 中学校 ● 高等学校 ● 特別支援学校


各教科等

- 国語
 - 小5 協働学習支援ツールを用いて考えを共有しよう
 - 中3 プレゼンテーションソフトで書いた紹介文を評価し合おう
- 社会
 - 中2 蓄積した情報を利用して地域的特色を説明しよう
- 算数
 - 小5 既習事項を端末上で操作して見通しをつくろう
 - 小5 ICTを使って、スタディ・ログを活用しよう
- 数学
 - 中1 単元で学習したことをシート1枚にまとめよう
 - 中2 ICTを使って他者の考えを取り入れよう
- 理科
 - 小6 全員の結果から科学的に考えをつくろう
 - 中2 自分の考えと他者の考えを比較しよう
- 音楽
 - 中2 表現を記録したり聴きたい部分を聴いたりしよう
 - 中2 ICTを活用してペアやグループでオリジナルソングをつくろう
- 図画工作
 - 小5 ICTを活用して材料の特徴を共有しよう
- 保健体育
 - 中1 動画で運動の行い方を分担して学習しよう
- 外国語
 - 小6 ICTを活用して自分の考えや気持ちを伝える文をつくろう
 - 中1 ICTでよりよいスピーチにしよう
- 総合
 - 小4 地域の防災マップ作成に必要な情報を集めよう
 - 小5 ICTを活用してプログラミングをしよう
 - 中3 まちづくりに参加しよう!
- 特別活動
 - 小5 リーダーとして挑戦したいことを出し合い、Yチャートで分類して役割を考えよう
- 工業
 - 高2 屋内配線工事の設計と施工をしよう

特別支援教育

マネジメント

- 小学校 特別支援学級
 - ICTを活用して、学習を振り返ろう
 - ICTを活用して聞いたことを基に行動しよう
- 特別支援学校 小学部
 - 円滑にやり取りするための留意点を動画で伝えよう
 - 自分の話し方を動画で振り返ろう
- 特別支援学校 中学部
 - ICTを活用して、相手にどう伝えるかを決めよう
- 特別支援学校 高等部
 - 働くことを想定した場面でICTを活用しよう
 - ICTを使って自然災害について考えよう
 - 動画で自身の行動を振り返ろう
 - タブレット型端末で伝えよう
- 小学校
 - ICTを活用した授業評価・分析
 - ICTを活用して職員研修会をしよう
 - 教員の協働性を高めるGoogleスプレッドシートの活用
- 高等学校
 - テキストマイニングツールを使用して自由記述型のデータを集約しよう
 - Google Chatで教員の交流を活性化

各ページの  のアイコンをクリックするとリンク先ページへ移動します

Click!  ご覧になりたい実践を選んでクリックしてください

協働学習支援ツールを用いて 考えを共有しよう

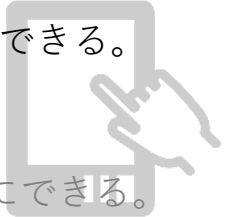
これまで

共有に**時間がかかる**。
考えの修正が**負担になる**。

ICT
活用

協働学習支援ツールで
考えを共有

- ★ クリックするだけで、**すぐに友達のことを把握**できる。
- ★ **全ての友達のことを把握**できる。
- ★ 消して書き直す手間がなく、**考えの修正が容易**にできる。



10/11時
目標

友達とのちがいに着目して読み、アフターストーリーをつくろう「大造じいさんとガン」
修正・強化された読みに基づいた考え（アフターストーリー）を表現することができる。

考えたアフターストーリーが、読みに基づいたものになっているかを評価し合い、考えを修正・強化します。

導入

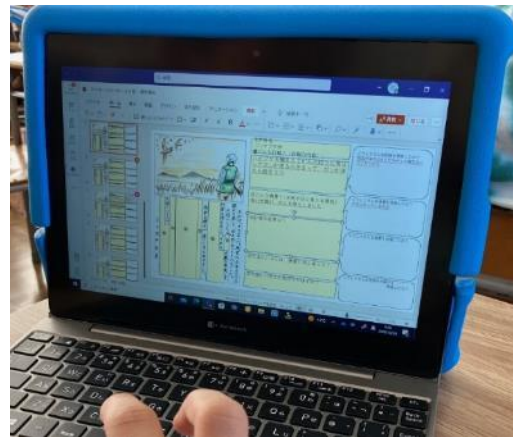
展開

終末

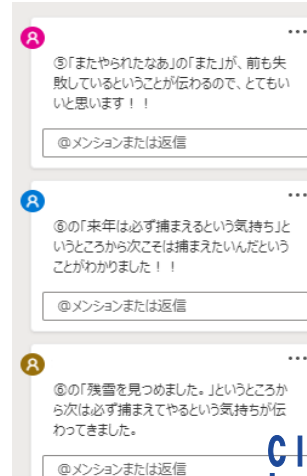
めあて
これまでの学習をもとにして、
アフターストーリーを考えよう。



プレゼンテーションソフトを用いて、
アフターストーリーを作成



考えを共有・評価する



Click here!

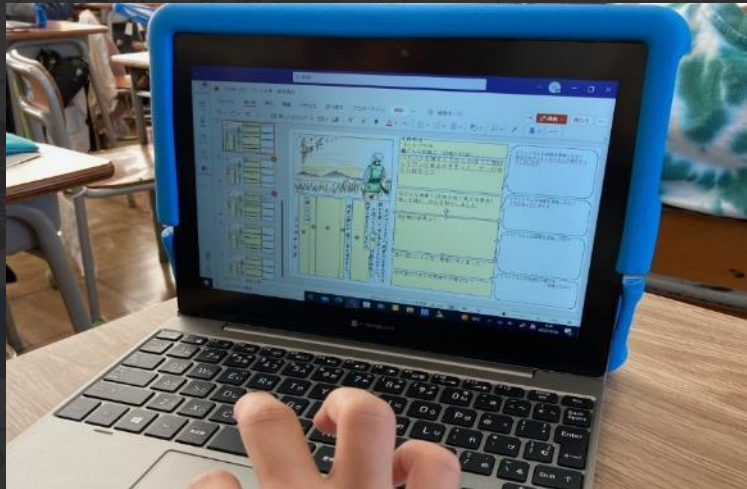


評価をもとに考えを
修正・強化する

Click here!

考えを共有・評価する

協働学習支援ツールを用いて、
考えを記述する



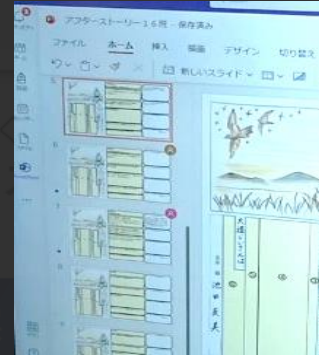
協働学習支援ツールを通して配付された
プレゼンテーションソフトに、考えを記述する。

他者の考えを評価（コメント）する

協働学習支
て考えを共有

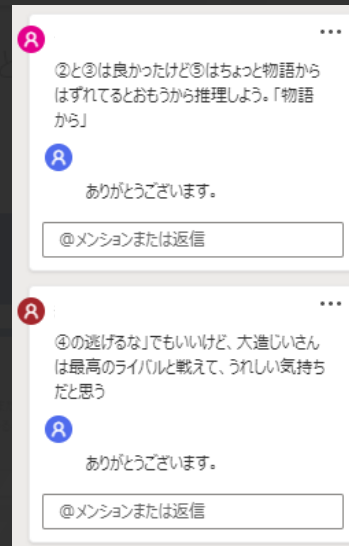


共有



友達が作成している
シートを、いつでも
見ることができる。

友達の考えに対して、
コメントを書く。



ができる。

修正が容易にできる。

みに基づいたものになっているかを
ます。

終末

一人で考える時間に、なかなか考えを記述できない児童や、作業が早く終わって、次の作業をじっと待っている児童はいませんか。端末上で考えを共有できる状態にしていれば、児童は、**友達の考えを参考にしながら自分の考えをつくったり、他者とコメントを伝え合ったり**、個人の進度に応じた活動を行うことができます。

ICT
活用の
Point



Click!

小学校 第5学年

国語科



MAIN MENU

評価をもとに、考えを修正・強化する

自分の考えに対して届いたコメントを確認

自分の考えを修正・強化する

① 研習名
「タニシ作戦」

② どんな目的？（目的の内容）
前のタニシ作戦で残ったものを使って、食べるすぎに就てうつという作戦でした。

③ どんな背景？（天気や日に見える景など）
この日は曇っていて、いい天気ではない日でした。

④ 資料の結果は？
ガンの資料がやってみましたが、がんの群れは、畑さ地に降りてタニシを食べていました。その間も油断なく残雪は完結していき、大進しいさんが残雪をかまえた時、残雪が気づき、ガンの手に衝き寄せると向きを変え上へと飛び立ちました。

⑤ 大進しいさんは、残雪に何と言った？
「またやられたなあ」

⑥ 大進しいさんの気持ちや様子は？
来年は必ず捕まえるという気持ちでじゅと残雪を見つめました。

どうしてそんな評価を頂いたの？
前のタニシ作戦で大進しいさんが、残雪をかまえた時に気づいて残雪が気づいたことについて書いていたから。

どうしてそんな評価を頂いたの？
五年の最後の力を振り絞っていかにも驚かすような残雪の描写が素晴らしいので、あまり好評だったから。

どうしてそんな評価を頂いたの？
ほとんどの作戦で、大進しいさんが残雪をかまえた時に残雪が気づき、大進しいさんが気づいていくから。

どうしてそんな気持ちや様子？
大進しいさんの新しい気持ちも残雪に気づいたから。

⑦ 「またやられたなあ」の「また」が、前も失敗しているということが伝わるので、とてもいいと思います！！

@メンションまたは返信

⑧ 「来年は必ず捕まえるという気持ち」というところから次こそは捕まえたんだということがわかりました！！

@メンションまたは返信

⑨ 「残雪を見つめました。」というところから次は必ず捕まえてやるという気持ちが伝わってきました。

@メンションまたは返信



考え（アフターストーリー）

一度書いたものを、消して書き直すことは、子どもたちが負担に感じる作業です。しかし、端末上での文字入力には、**修正が容易になるため、負担が軽くなります。**また、端末上でコメントを伝え合うことで、**交流したことが文字として残り、いつでも振り返ることができます。**

ICT
活用の
Point



Click!

小学校 第5学年

国語科

MAIN MENU

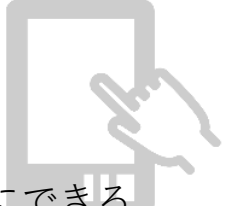
プレゼンテーションソフトで書いた紹介文を 評価し合おう

これまで
生徒が書いた文章を
互いに読み、
評価し合うのに時間か
かかる。

ICT
活用

紹介文を
プレゼンテーション
ソフトで作成

- ★ 友達と**紹介文をすぐに共有**することができる。
- ★ 生徒同士で**同時にコメント**を送ることができる。
- ★ コメントをもとに**紹介文を推敲**することが容易にできる。



4/6時
目標

千年の時を越えて古人の思いを感じよう「君待つと一万葉・古今・新古今」
和歌からイメージを広げて詠んだ短歌の良さをまとめた紹介文を、
友達と評価し合い、友達の考えを知る。

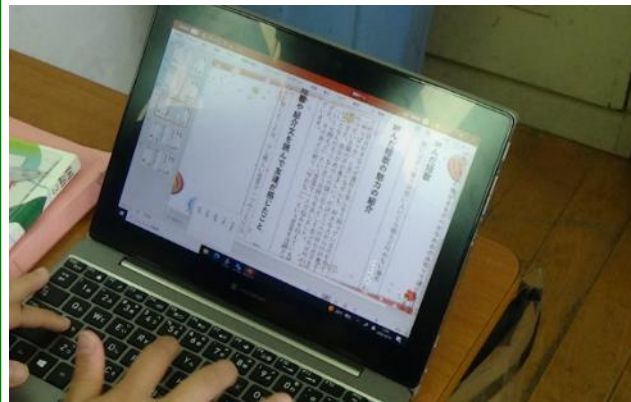
和歌を読み味わうために、和歌からイメージを広げて詠んだ短歌に
表した情景や心情、表現の技法とその効果について評価し合います。

導入

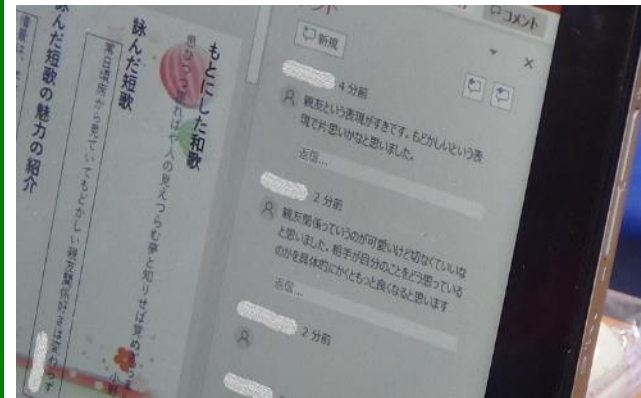
展開

まとめ

めあて
和歌からイメージを広げて
詠んだ短歌の良さを伝える
紹介文を書こう。



プレゼンテーションソフトで
紹介文を書く **Click here!**

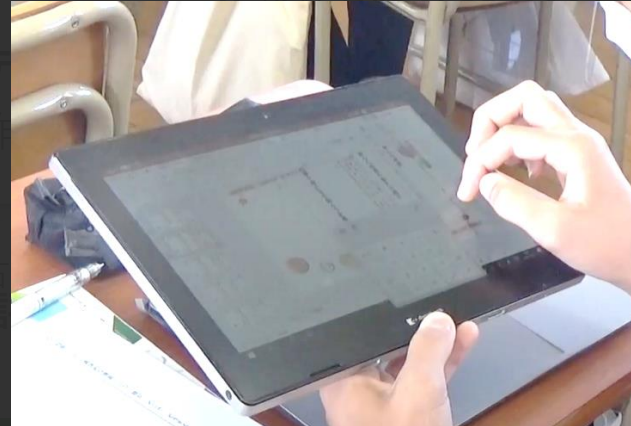


短歌の良さを
評価し合い、コメントを書く **Click here!**



コメントを読んで、紹介文を
推敲する。

プレゼンテーションソフトで、紹介文を書く



プレゼンテーションソフトを活用して紹介文を書きます。
協働学習支援ツールを通して同じファイルを開くことで、複数の生徒が同時に編集することができます。
一つのファイルに複数のシートを準備しておくことで、友達の紹介文の書き方を参考にしながら紹介文を書くことができます。また、ローマ字入力が苦手な生徒も、フリック入力を選択することで、タブレット端末を活用して紹介文を書くことができます。

作文指導中に、文章を書くことが苦手な生徒の対応に追われ、学級全体への指導が不十分になってしまったという経験はありませんか。今回、紹介文を複数の生徒が同時編集できるようにしたことで、友達同士でアドバイスし合う姿が見られました。また、タブレット操作に慣れていない生徒には、紹介文に書く内容を学習プリントに記述させるなど、生徒が**選択**できるようにしたことで紹介文を書くことができました。

このように、生徒の実態や学習内容に応じて**学習プリントとタブレット端末を使い分ける**ことも大切です。

ICT
活用の
Point



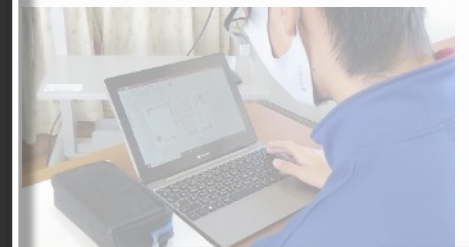
実践
市立直方第三中学校
中村 芳雄



。
る。
ことが容易にできる。

ために、短歌に詠んだ情景や心
評価し合います。

まとめ



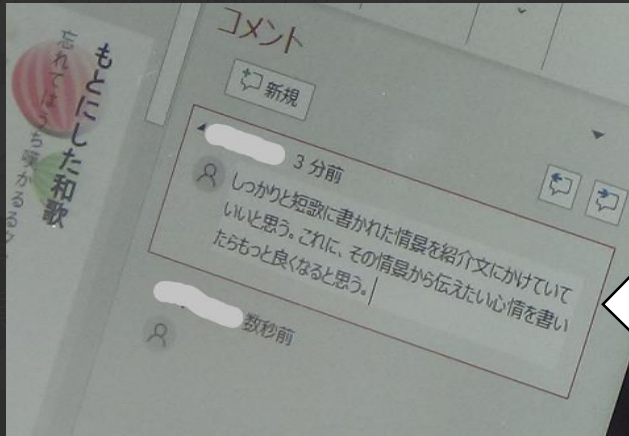
中学校 第3学年

国語科

Click!

MAIN MENU

短歌の良さを評価し合い、コメントを書く



コメント機能を活用し、紹介文を読んで感じたことを記入します。

しっかりと短歌に書かれた情景を紹介文にかけていいと思う。これに、その情景から伝えたい心情を書いたらもっと良くなると思う。



コメントを読んで紹介文を推敲します。コメントを読んで分からないことは質問します。

これまでは、交流活動の時、学習プリントをグループで回し読みしていたため、一人一人のプリントを読む時間が制限されていました。しかし、協働学習支援ツールを活用することで、**複数の生徒が同時に閲覧**したり、**コメントを記入**したりできるため、生徒自身が時間配分を設定して読むことができます。活動を早く終えた生徒は、自分へのコメントを確認し、紹介文を推敲することができるため、**時間を有効に使って学習を進める**ことができます。

ICT
活用の
Point



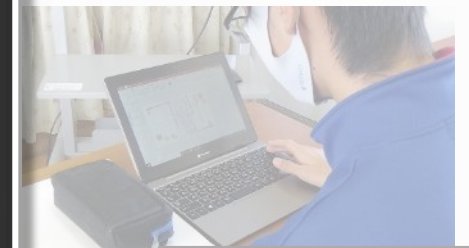
実践
市立直方第三中学校
中村 芳雄



。。
る。
ことが容易にできる。

ために、短歌に詠んだ情景や心
評価し合います。

まとめ



中学校 第3学年
国語科

Click!

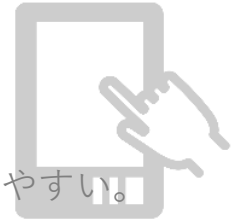
MAIN MENU

蓄積した情報を利用して地域的特色を説明しよう

これまで
・一度作った考えの**修正が難しい**。
・ノートやファイルに**記録した情報**を活用して自分の考えをつくるのが**難しい**。

ICT活用
ICTで情報を**操作しながら考察した内容を記録**していく。

- ★ 自分の考えの**付加・修正が容易**にできる。
- ★ **考察した内容（過程）の可視化**ができる。
- ★ 記録した多くの情報が**一か所に蓄積**でき、活用しやすい。



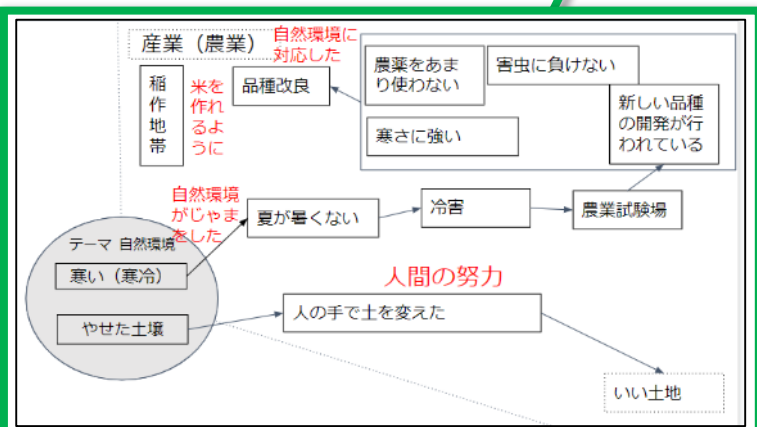
5/5時
目標

日本の諸地域 単元名「北海道地方」
北海道地方の**地域的特色**を、**関連図**を基に**文章で説明**しよう。

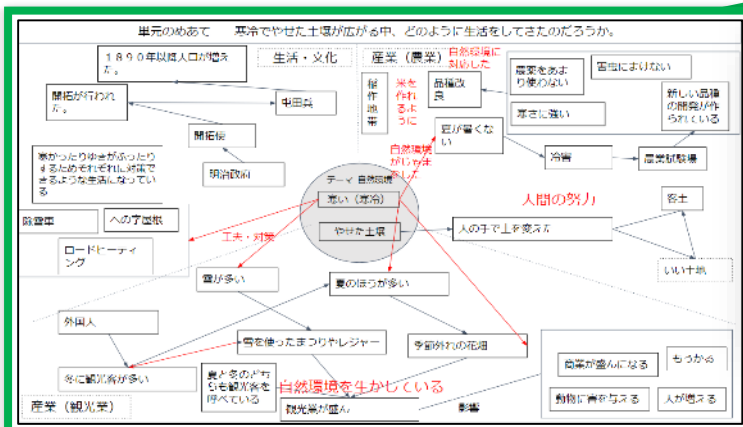
第5時は、単元を通して**関連図に整理した自分の考え**(学習内容)を基に、**北海道地方の地域的特色**を**文章で説明**しています。

つかむ さぐ る まとめる

単元を貫く学習課題
寒冷でやせた土壌が広がる中、
どのように生活してきたのだろう。



自分の考えを付加・修正する
(事象と事象を関連付ける) **Click here!**



ICTに記録した情報を利用して自分の考えをつくる
(地域的特色を説明する) **Click here!**



自分の考えを付加・修正する（事象と事象を関連付ける）

<手順>

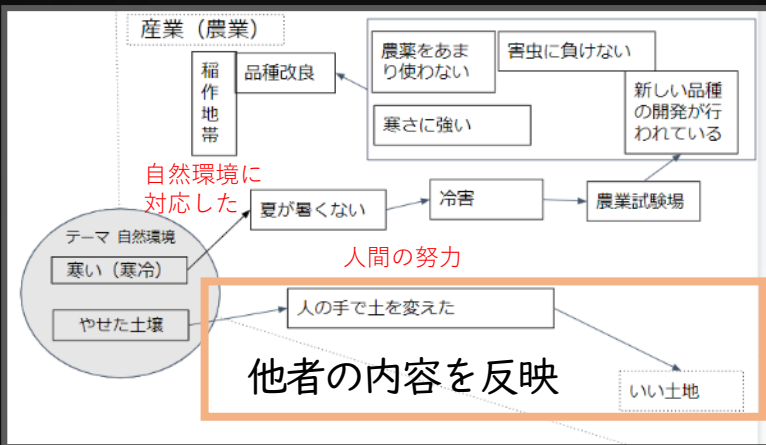
- ①資料から読み取った事象を入力する。
(四角内の事象)
- ②事象を「原因と結果」などの関係性が分かるように線や矢印で結ぶ。
- ③関連図を根拠に問いに対する自分の考えをつくる。
- ④交流活動で他者の考えを聞き、自分の考え(関連図の内容や文章)を付加・修正する。

問い

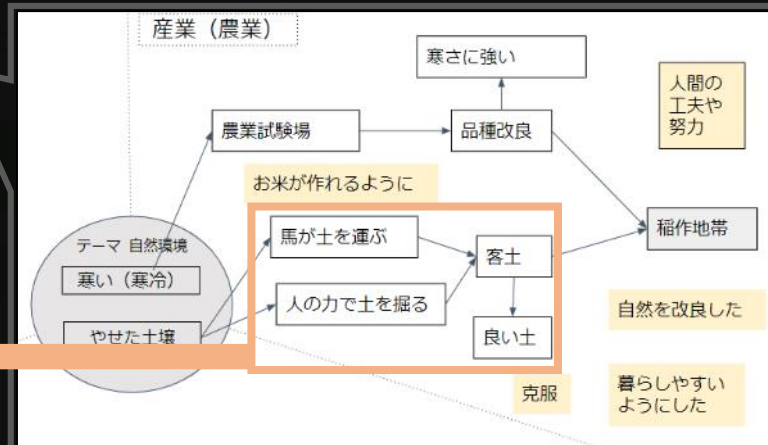
「北海道では、寒冷でやせた土壌が広がる中、なぜ稲作が盛んになったのだろう。」

生徒の考え

「北海道では、人間の努力によって自然環境に対応したことで稲作が盛んになった。」



生徒Aが考えをまとめた関連図



生徒Bが考えをまとめた関連図

これまでの、紙や付箋を使って自分の考えを整理することはあったと思いますが、紙や付箋だと一度整理したものを修正したいときには手間がかかってしまいます。しかし、ICTを活用すれば文字や図などを操作したり加工したりすることが容易なので、**試行錯誤しながら**自分の考えを整理できます。また、他者との比較でわかった**新たな考えを付け加える**ことも容易にできます。

ICT
活用の
Point



実践
市立福間中学校
山脇 泰季

自分の考え(学習内容)を
しています。

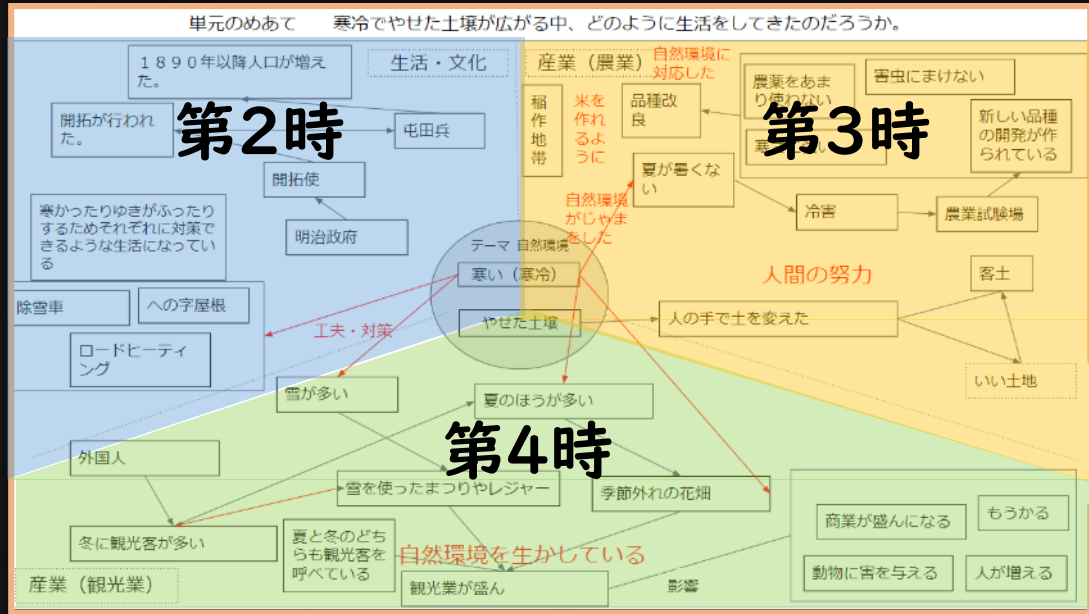
まとめる



中学校 第2学年
社会科

Click!

ICTに記録した情報を利用して自分の考えをつくる(地域的特色を説明する)



北海道の寒い気候に村人達は除雪車やロードヒーティングなどを作り、生活をしてきた。また、観光業で、冬に雪が多く降り、夏も寒いにも生かして雪や氷をつかた祭りやレジャーをしたり、夏に季節外れの花畑をつくることのできた。だから夏も冬も自然環境を生かして観光客を呼べているので観光業がさかんになった。農業は、夏が寒く冷害が起ると、米がとれないこともあった。そういうのをなくすために、農業試験場で品種改良をすることで自然環境に支たてた。北海道はやせた土地も多く、稲作に向いてはなかったが、人が土をかえたことでいい土地になり、稲作ができるようになった。人間の努力によって農業も盛んになった。

※Googleスライド(プレゼンテーションソフト)を使用
単元を通して考察した内容を記録した関連図



関連図を根拠にして記述した
北海道地方の地域的特色の具体

ICT活用のPoint
これまで、単元末に自分の考えを作る際、その根拠となることをノートやファイルなどから見直す必要がありました。しかし、ICTを活用すれば単元を通して考察した内容がすべてタブレット端末上(一枚のシート上)に蓄積されるため、考察した内容(過程)が可視化され見直しやすく、自分の考えをつくりやすくなります。

自分の考え(学習内容)を
明確に記述しやすいため、
自分の考え(学習内容)を
明確に記述しています。

自分の考え(学習内容)を
明確に記述しています。

まとめる



中学校 第2学年
社会科
Click! here!

既習事項を端末上で操作して見通しをつくろう

これまで見通しの際、問題の解決のために使えるような**既習事項**が**不明確**で、**考えの形成**につながりにくい。

ICT
活用

既習事項を可視化
して、端末上の
簡単な操作で選択

見通しを付加・修正して考えの形成につなげることができる。

- ★ 問題の解決に使えるような**既習事項が明確になる**。
- ★ 選んだ既習事項を**友達と共有し、見通しを付加・修正しやすくなる**。

10/14時
目標

図形の面積

台形の面積の求め方について理解し、**台形の面積を求める公式**についての問いを見いだすことができる。

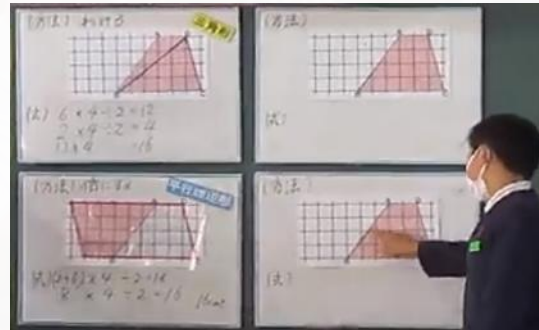
見通しで選んだ既習事項を基に考えを形成し、台形の面積の求め方を見だし、次時の問いに対する自分なりの解決の見通しをもつことができるようにします。

導入(考えをつくる)



選んだ既習事項について
見通しシートで友達と交流する **Click here!**

展開(知識を身に付ける)



多様な考えの共通点から
台形の面積の求め方を見いだす。

終末(次時の問いを見だし、見通しをもつ)



見通しシートを用いて、次時の問いの
解決に使えるような既習事項を選ぶ **Click here!**

めあて
台形の面積の求め方について調べよう。

次時の問い
台形の面積の公式は、どのような式になるのかな。

選んだ既習事項について見通しシートで友達と交流する

【本時の問い】 台形の面積は、どのようにして求めるのかな。

交流前の見通しシート

今回使えそうな事から

今までに学習した事から

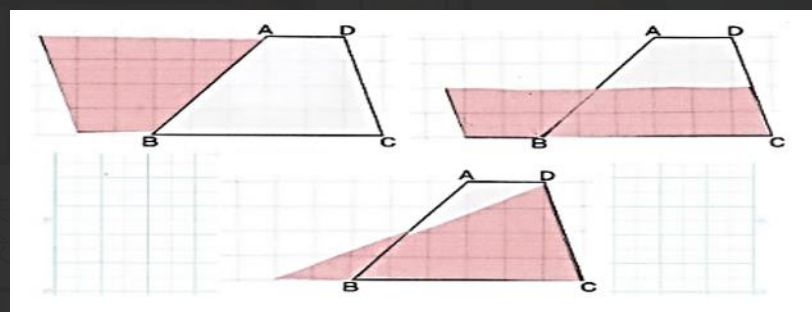


修正

交流後の見通しシート

今回使えそうな事から **付加**

今までに学習した事から



見通しシートを基につくった考え

既習事項を可視化し、画面をタップして移動できるようにすることで、簡単に見通しを付加・修正することができます。そのことにより、問題の解決に使えそうな既習事項が明確になり、考えを形成しやすくなります。

ICT
活用の
Point

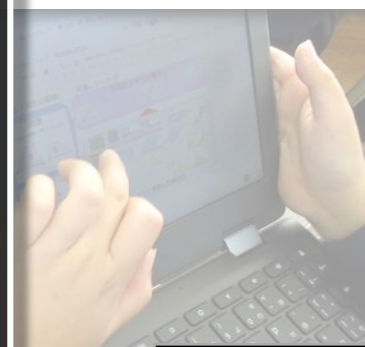


げることができる。

確になる。
しを付加・修正

、台形の面積の求め方を見だし、
をもつことができますようにします。

見だし、見通しをもつ



小学校 第5学年
算数科

見通しシートを用いて、次時の問いの解決に使えるような既習事項を選ぶ

【見いだした次時の問い】 台形の面積の公式は、どのような式になるのかな。

既習事項選択前は見通しシート

今回使えるような事から

今までに学習した事から



作成

既習事項選択後の見通しシート

今回使えるような事から

選択

今までに学習した事から

見いだした次時の問いを基に、**端末にスタディ・ログとして蓄積してきた見通しシートを参考**にして、問題の解決のための見通しシートを作成します。

ICT活用のPoint



【前時までに解決済みの問い】
三角形の面積の公式は、どのような式になるのかな。

今までに学習した事から

前時までに蓄積してきた見通しシート

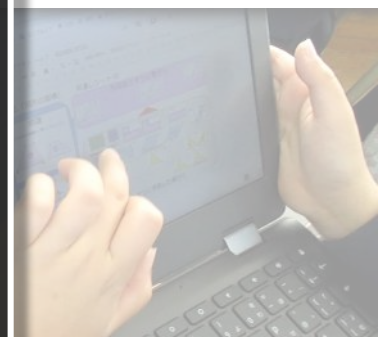
げることができる。

確になる。

しを付加・修正

、台形の面積の求め方を見だし、
をもつことができるようにします。

見だし、見通しをもつ



小学校 第5学年
算数科

ICTを使って、スタディ・ログを活用しよう

これまで
レディネスを揃えるのに時間がかかった。友達の考えを共有しづらかった。

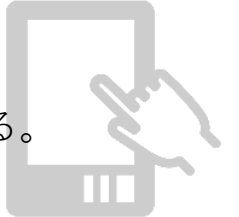
ICT
活用

協働学習支援ツール
でスタディ・ログを
蓄積、共有

既習事項を想起したり、子供同士の考えを共有したりすることができる。

★必要に応じて既習事項を想起することができる。

★一覧で表示されるので考えを参照しやすい。



4/11時
目標

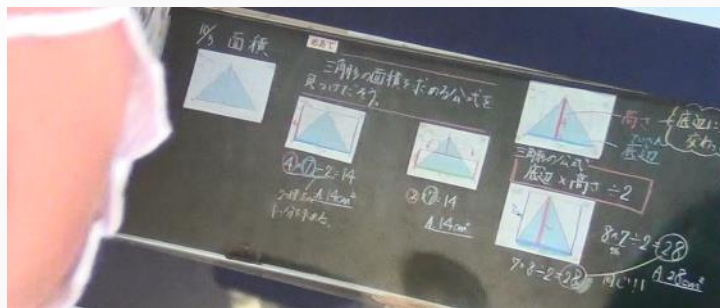
面積
三角形の面積の求め方や等積変形を使って、平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。

図形の構成要素に着目して平行四辺形の面積の求め方を考え、グループで交流する活動を設定することで平行四辺形の面積を求めます。

導 入

展 開

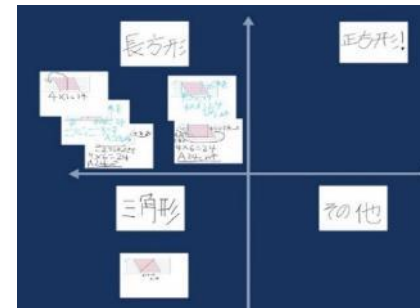
終 末



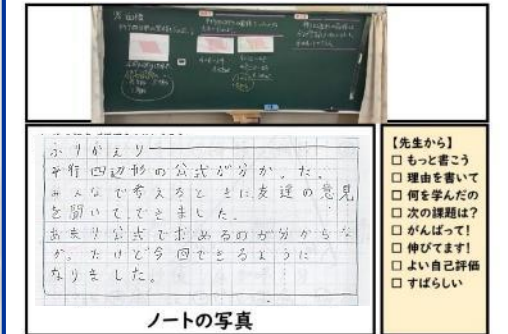
蓄積されたスタディ・ログで
前時までの学習を振り返る [Click here!](#)



一人一人の考えを共有し、
友達の考えを参照しながら考える [Click here!](#)



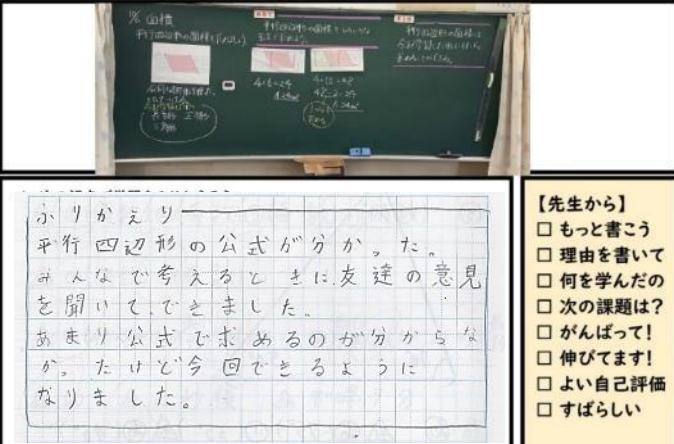
各グループで考えたことを共有し、
学級全体の考えから集めて整理する



本時の学びを整理し、クラウドに蓄積する

学習を振り返り、前時までの学習を想起する

振り返りシートに学びを記録する（前時）



先生の振り返りシート


【先生から】

- もっと書こう
- 理由を書いて
- 何を学んだの
- 次の課題は？
- がんばって！
- 伸びています！
- よい自己評価
- すばらしい

ノートの写真

振り返りシートに1時間の学びを振り返った記述を写真で撮影したものを貼り付けます。

前時までの学習を思い出す



蓄積

前時の黒板の写真（振り返りシート）を見ながら前時までの学習を思い出します。



これまでは「前時までの学習を想起する」際に時間がかかってしまうということがなかったでしょうか。しかし、クラウド上で学習内容を蓄積し、各自のタイミングでいつでも参照することができれば、**前時までにどのような学習をしたのか思い出**すことができ、個別最適な学びにつなげることができます。

ICT
活用の
Point



実践
市立鎮西小学校
皆川 侑一郎

共有したり

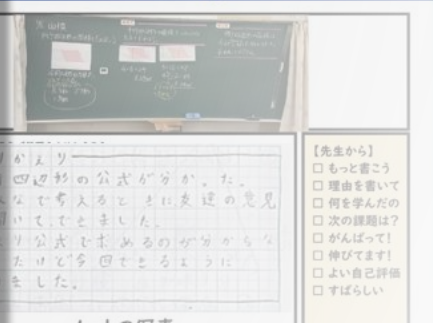


ことができる。

すい。

面積の求め方を考え、グループで交
面積を求めます。

終末



Click!

小学校 第5学年
算数科

MAIN MENU

自力解決していることを共有する

自分で考えた求積方法を記入する

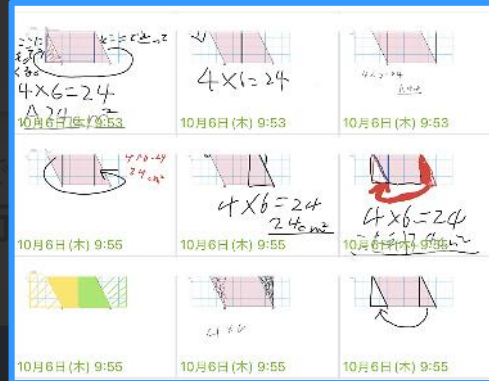


端末に配布されたシートに、自分で考えた平行四辺形の求積方法を記入します。

共有

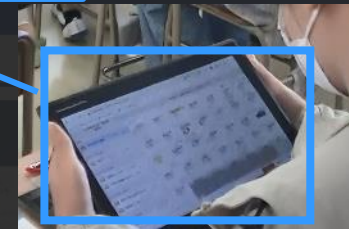


友達がどのように考えているか確かめながら自分の考えをつくる



全員がどのように考えているのか一覧表示することで、リアルタイムで友達が考えていることを確認できます。

友達の考えを参考にしながら自分の考えをつくります。



これまで、自力解決を図る際にじっと待つだけ子がいなかったでしょうか。しかし、端末上で考えを共有できれば、苦手な子供は**友達の考えを参考に自分の考えをつくる**ことができます。はやく終わった子供は自分の考えと比較して、検討することもできます。

ICT
活用の
Point



共有したり

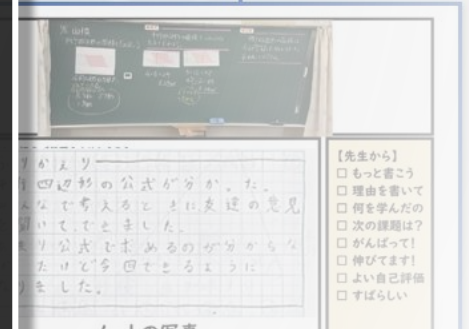


ことができる。

すい。

積の求め方を考え、グループで交
の面積を求めます。

終末



小学校 第5学年
算数科



MAIN MENU

単元で学習したことをシート1枚にまとめよう

これまで

- ・既習と本時の学習での知識のつながりをつくることが不十分

ICT
活用

学習した知識を
学習支援ソフトで
シート1枚に整理する

◎1枚にまとめることで、知識のつながりが生まれる。

ICTを活用すれば

- ★シートを**修正**したり、**操作**したりできるので整理しやすい。
- ★既習とのつながりを色や矢印で**視覚化**して関連付けることができる。



単元
7時間

単元名：比例

単元のねらい：負の数の場合の比例の表、式、グラフそれぞれの特徴を調べよう

Point



単元をコンパクトに編成し、1つの学習課題で単元の学習内容を貫きます。

導入

負の数の場合だったら
という課題設定

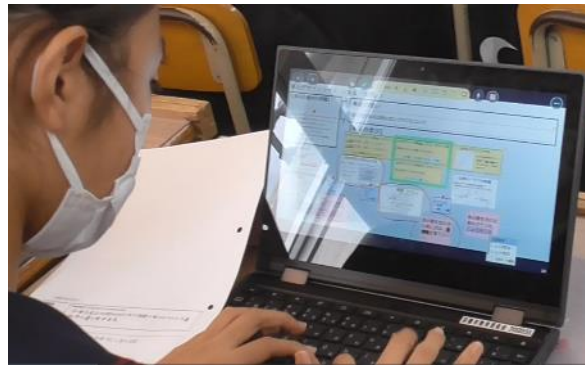
展開

負の数の場合の比例の表、式、グラフの特徴を調べる
(導入で設定した課題を1単位時間に1つずつ解決していく)

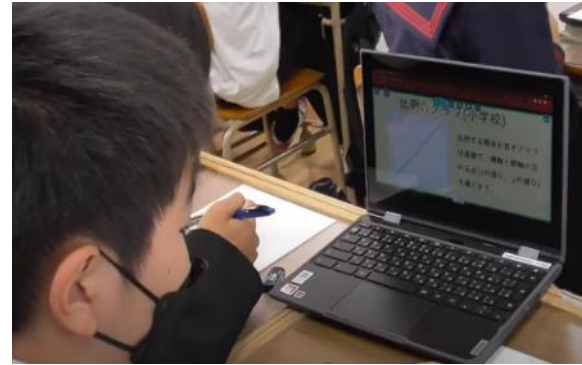
終末

負の数の場合の比例について
学習したことを整理する

単元で追究する課題をシートに記録しておくことで、毎時間生徒が課題を意識しながら学習に取り組むことができる。



シート1枚に学習した
知識を整理する **Click here!**



前時の学習内容を確認し、
課題解決に役立てる **Click here!**

整理してきたシートを使って、学習内容の全体像を俯瞰し、単元で学習したことを振り返ることができる。

シート1枚に学習した知識を整理する

●【黄色のカード】

単元の学習で関係のありそうな既習の知識を記したものを。いつでも、どの授業でも関連付けられるようにしておく。

○【白色のカード】

1単位時間で学習した内容を記したものを。今回は教師が作成し、配付したが、できれば生徒に作成させたい。

振り返りシート（1年生「比例」）

【単元の最初の問題】

種乳石は100年で1cmずつ伸びるといわれています。このとき、次の問題について考えてください。ただし、種乳石が伸びる速さが一定であるとします。

(1) 30cmである種乳石が35cmになるのは何年後と予想することができますか。

(2) 30cmである種乳石ができたのは何年前と予想することができますか。

【単元で学習すること】

負の数を含む比例の表、式、グラフについて考えよ

【単元の学び】

表 → **比例**

式 → **比例の式**

グラフ → **座標**

比例の式
 $y = ax$
 (aは比例定数)

比例の式を求める方法
 y は x に比例し、 $x=8$ のとき $y=16$ です。
 $y = ax$
 $16 = a \times 8$
 $8a = 16$
 $a = 2$
 $y = 2x$ である。

座標
 座標 (x, y)

比例のグラフ

比例の式 $y = ax$ (aは比例定数)

比例の式を求める方法

座標

比例のグラフ

比例のグラフの特長

比例の式

比例の式を求める方法

座標

比例のグラフ

比例のグラフの特長

■【青色のカード】
単元の終末で、単元の学習内容の全体像を俯瞰し、どのようなことを学んだかをまとめたもの。

□【桃色のカード】
1単位時間の授業で、新しい知識を獲得する過程で働かせた見方・考え方をまとめたもの。

【矢印や枠囲み】
知識を統合したり、発展させたりしたことを表現する。

ICT活用のPoint



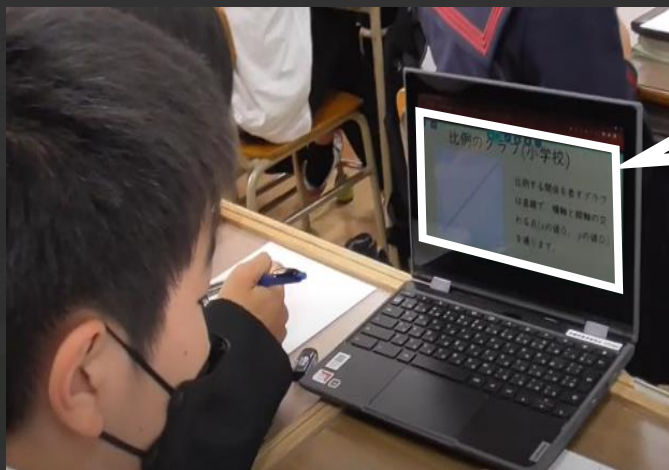
ICTを活用すれば、修正したり、操作したり、拡大・縮小したりできるので整理しやすい。また、色や矢印を使って本単元の知識のつながりを視覚化することができる。

中学校 第1学年
数 学 科

Click!

MAIN MENU

前時の学習内容を確認し、課題解決に役立てる

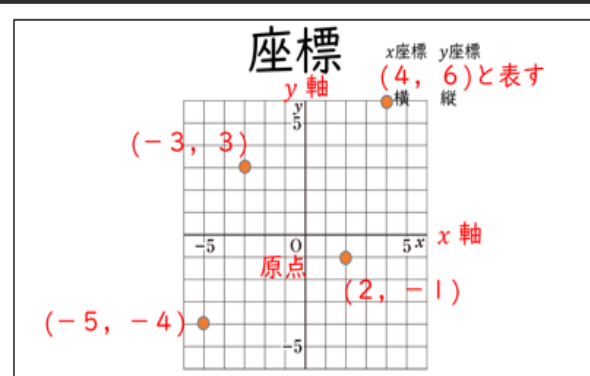


比例のグラフ(小学校)



比例する関係を表すグラフは直線で、横軸と縦軸の交わる点(xの値0, yの値0)を通ります。

生徒が見ていた他の学習内容



小学校で学習した

「比例のグラフは原点を通る直線である」ことや、前時に学んだ

「負の数を含む座標の表し方」が、シートを見ることで思い出せる。授業中に自由にシートを見ることができるようになることで、整理してきた知識を自力解決に役立てることができる。

比例のグラフがかけなくて、一人一台端末を見えています。

ICT
活用の
Point



シートに整理してきた内容は、一人一台端末でいつでも確認できるので、生徒が**スタディ・ログ**として活用し、前時までに学習した内容を授業の課題解決に役立てることができます。

中学校 第1学年

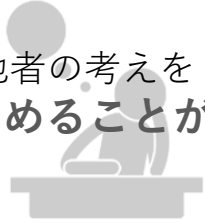
数 学 科

Click!

MAIN MENU

ICTを使って他者の考えを取り入れよう

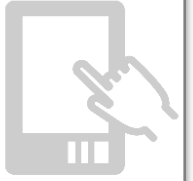
これまで
自分の考えと他者の考えを
比べて、まとめることが
難しい。



ICT
活用

思考比較カードを
用いて他者の考えを
共有

- ★ 他者の考えを瞬時に確認することができる。
- ★ 参考になる考えを自分の端末に追加して比較できる。
- ★ 移動、編集等を容易に行うことができる。



1 / 11時
目標

一次関数の存在に気付く。（教材名「一次関数」）
比例でも反比例でもない x と y の関係があることに気付く。

x と y の関係を既習の関数を使って求めることができるかどうかについて、他者の考えと比較しながら、自分の考えをまとめています。

導 入

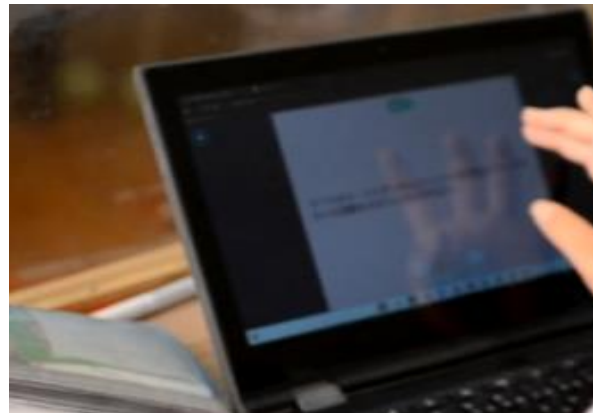
展 開


終 末

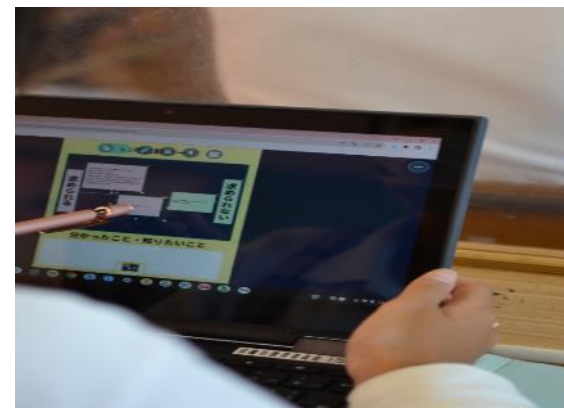
経過日数 (x) と
ダム貯水量 (y)
の関係に着目する。


めあて

貯水量が650万 m^3 を下回るの
がいつになるかを求めよう。



共有された他者の考え
を見る。 Click here! 



参考になる考えを
追加して比較する。 Click here! 

新たな x と y の関係を明
らかにしていく上で必要
なことや、分かったこと
について、他者の考えを
基に、自分の考えをまと
める。

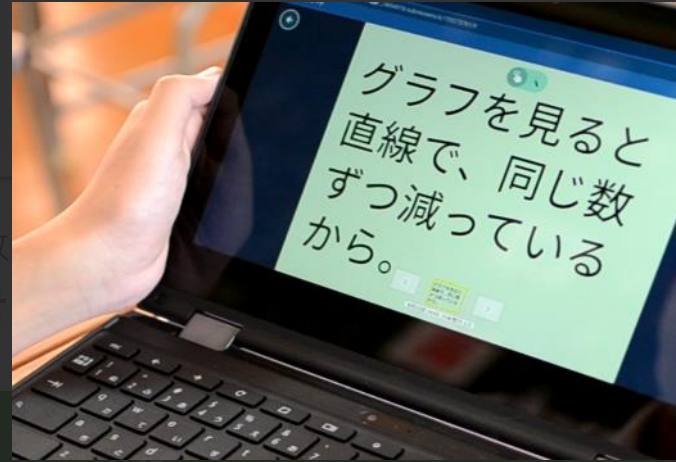
共有された他者の考えを見る



思考比較カードを用いて他者の考えを共有する。



自分にはない考えや似ている考えを見る



★他者の考えを瞬時に確認することができる。

生徒が提出した考えを、ICTを活用して共有することによって、全員分の考えを生徒個人の学習端末上で閲覧することができます。

自分の考えを付箋に記入します。タイピングによる入力や、タッチペン等による記入を行い、教師が指定したフォルダへ送信します。

これまでの数学の学習指導では、自分の考えをつくる際、何を書けばよいか分からない生徒や分からずにあきらめている生徒への支援に時間がかかる場面が多かったのではないのでしょうか。ICTを活用すれば、生徒は**全員の考えを瞬時に確認**することができるので、他者の考えを参考にしながら自分の考えをつくりやすくなり、白紙のまま次の活動に移ることがなくなります。よって、生徒間での教え合いや学び合いの質の高まりにつながっていくと考えられます。

ICT
活用の
Point



る。

て比較できる。

る。

求めることができるかどうかにかかわらず、自分の考えをまとめています。



終末

新たな x と y の関係を明らかにしていく上で必要なことや、分かったことについて、他者の考えを基に、自分の考えをまとめる。

中学校 第2学年
数 学 科



Click!

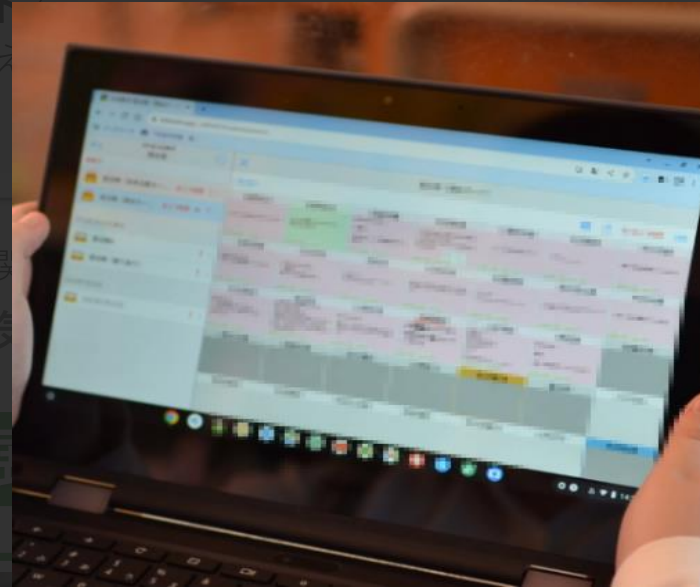


MAIN MENU

参考になる考えを追加して比較する



追加



他者の考えを**自分の端末に追加**することによって自分の考えと**並べて比較**することができるので、どこが同じで、どこが違うかという具体的な内容に着目して考えを整理したり、新たな情報を取り入れたりすることにつながります。

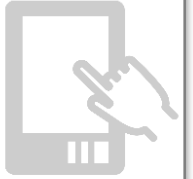
従来のノートや学習プリントを用いた学習では、参考になる他者の考えを書き写すことに時間がかかっていました。

複製や移動等のカスタマイズが容易であるというICTならではの良さが活かされることで、より多くの情報を効率よく自分の端末に追加することができるので、考えを比較し、吟味するようになります。

ICT
活用の
Point



る。
追加して比較できる。
る。



を使って求めることができるかどうかにか
しながら、自分の考えをまとめています。

終末

新たな x と y の関係を明らかにしていく上で必要なことや、分かったことについて、他者の考えを基に、自分の考えをまとめる。

中学校 第2学年
数 学 科



Click!



MAIN MENU

全員の結果から科学的に考えをつくろう

これまで
全員の結果を確認しようと思っても、共有しづらさがあり、**労力や時間**がかかっていた。

ICT
活用

授業支援クラウドで
結果や解釈を画面に
一覧表示

個人や班の実験結果や解釈を共有し全体の傾向をつかむことができる。

- ★ 即時に他者の結果を共有し、把握することができる。
- ★ 一覧で表示されるので結果や解釈を比較しやすい。

6/9時
目標

てこの規則性

見通しと照らし合わせ、他者の結果を踏まえ、問題解決の過程を根拠としながらより妥当な考えをつくり出すことができる。

一人一人が自身の計画を基に実験を行い、結果を共有することで多面的に結果を分析し、科学的に自分の考えをつくります。

問題の設定

予想・仮説

計画

実験

結果の整理・考察

結論

問題

実験用てこの左右のうでが水平になって
つり合うときのきまりは、
左腕の支点からの距離×おもりの重さ＝
右腕の支点からの距離×おもりの重さ
になるときでいいのだろうか。



結果や解釈を比較したり、
他者の結果も踏まえて
検討する

Click
here!



一覧で示された結果を学級で確認し、検討する

Click
here!



結果や解釈を比較したり、他者の結果も踏まえて検討する

実験の結果をシートに入力



端末に配布された結果入力シートに
実験の結果を入力します。

解釈によって、シートの色を変えて提出

<p>左うて</p> <p>右うて</p> <p>6 5 4 3 2 0 1 2 3 4 5 6</p> <p>5</p> <p>30</p> <p>左うてに設定した値を言きましょう。</p> <p>右うてに設定した値を言きましょう。</p> <p>150 × 50 × 30 ×</p> <p>つり合った重さを記録しましょう。持っているおもりで確かめられないときは空白で。</p> <p>カードの色を、ままりが成立したら青、成立しなかったら赤にしましょう。</p>	<p>左うて</p> <p>右うて</p> <p>6 5 4 3 2 0 1 2 3 4 5 6</p> <p>4</p> <p>30</p> <p>左うてに設定した値を言きましょう。</p> <p>右うてに設定した値を言きましょう。</p> <p>110 60 40 30 × 20</p> <p>つり合った重さを記録しましょう。持っているおもりで確かめられないときは空白で。</p> <p>カードの色を、ままりが成立したら青、成立しなかったら赤にしましょう。</p>
<p>左うて</p> <p>右うて</p> <p>6 5 4 3 2 0 1 2 3 4 5 6</p> <p>1</p> <p>20</p> <p>左うてに設定した値を言きましょう。</p> <p>右うてに設定した値を言きましょう。</p> <p>20 10 ? ? ? ?</p> <p>つり合った重さを記録しましょう。持っているおもりで確かめられないときは空白で。</p> <p>カードの色を、ままりが成立したら青、成立しなかったら赤にしましょう。</p>	<p>ままりが成立したら青、成立しなかったら赤、判断できなかったら黄色</p>

一覧表示になったときに判断しやすいように、
解釈ごとに色を分けて結果の整理をします。

送信

提出するシートの色を変えて自分の解釈や立場を示すこともできます。
色を分けて結果を示すことができれば、どのような結果が集まったのか一目瞭然ですね。
また、結果や解釈をグルーピングをしたり、比較をしたりすることもできます。

ICT
活用の
Point



実践

市立南風小学校
笠 愛

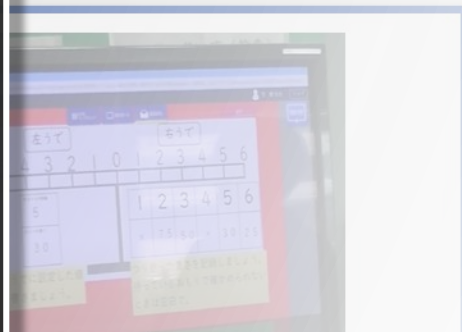
向をつかむことができる。

できる。

比較しやすい。

結果を共有することで
えをつくります。

結論



Click!

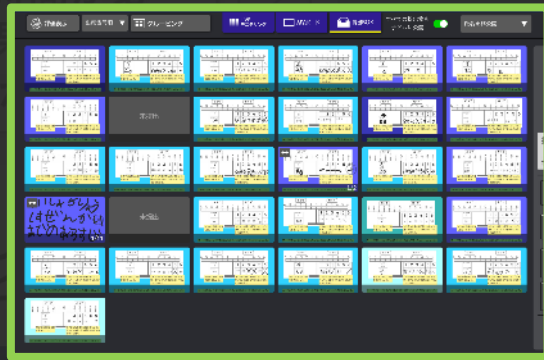
小学校 第6学年

理 科

MAIN MENU

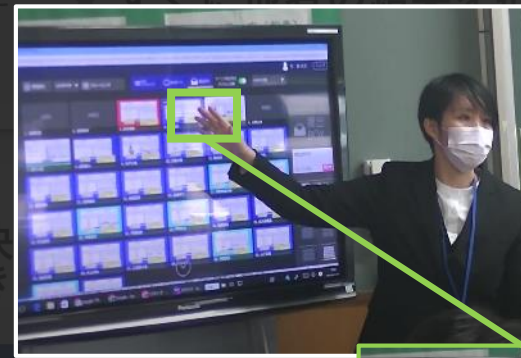
一覧で示された結果を学級で確認し、検討する

学級の結果を確認

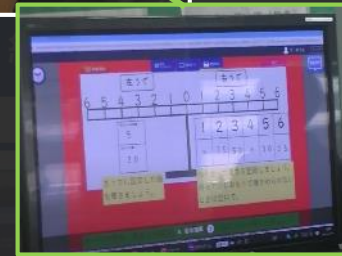


一人一人の子供が提出したシートが一覧で画面に表示されます。

学級全体で確認



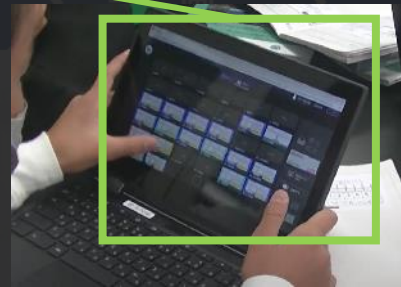
端末に入力した考えが大型モニターにも表示されます。



気になる結果を拡大して、全体で検討することも可能です。

集約

端末の画面を見ながら、他者の結果と比較しながら言えることを考えます。



これまでは、各個人が実験を行っていても、全員の結果がどうであったのかを確認するのは時間も労力もかかり、困難さがありました。そこで、端末上で結果を共有できれば、**リアルタイムで一覧**に示すことができ、全員分の結果を根拠として結論を導き出すことができます。また、一人一人が責任をもって自分の実験を行うことにも繋がります。

ICT
活用の
Point



実践

市立南風小学校
笠 愛

向をつかむことができる。

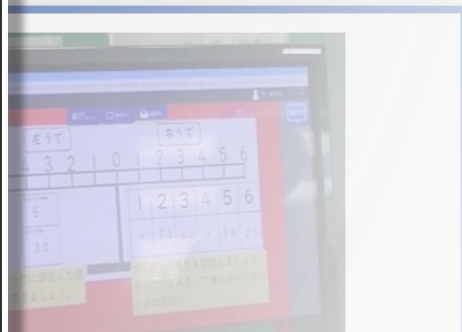
できる。

較しやすい。

結果を共有することで

えをつくります。

結論



Click!

小学校 第6学年

理

科

MAIN MENU

自分の考えと他者の考えを比較しよう

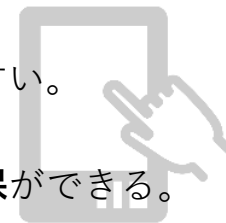
これまで

- ・お互いの考えを共有し、比較するには**時間がかかる**。
- ・比較した結果をもとに自分の考えを**再検討する時間が確保できない**。

ICT
活用

考えを
アンケート機能や
プレゼンテーション
ソフトで共有・比較

- ★生徒がお互いの考えを**即時に共有**でき、**比較**しやすい。
- ★比較した結果をもとに**考えを再検討する時間の確保**ができる。



4/9時
目標

回路と電流・電圧

課題に対する予想を立て、それを検証する実験の計画を立てることができる。

豆電球が1つの回路で見いだした「回路を流れる電流の大きさはどこでも同じ。」という決まりは、「豆電球が複数の回路でも言えるだろうか。」という課題に対する予想を立て、それを検証する実験の計画を立てています。

導入

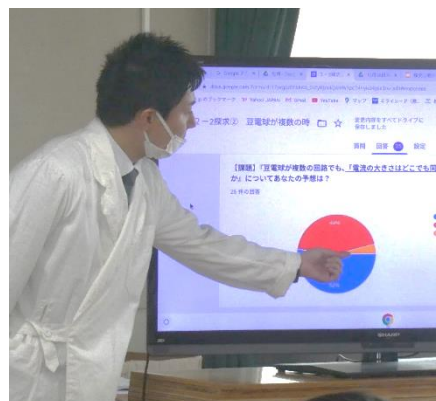
展

開

まとめ



自分の予想を
入力



それぞれの予想を
即時共有し、比較

Click
here! 



他の班の計画と比較し、
班の計画を再検討

Click
here! 

自分の予想を入力、比較



導入場面

課題に対する自分の予想を、アンケート機能を利用して入力します。

ICTで

即時に集計、
グラフ化

それぞれの予想を比較し、
予想や理由のずれを確認



展開前半場面

データの集計、グラフ化が即時に行われるので、考えを比較することが容易にできます。

これまでの授業では、数名に予想を聞いたり、理由を発表させたりして考えのずれを確認させてきました。しかし、発表が苦手な生徒は発言できなかったり、他の生徒の考えに引っ張られたりすることもありました。

ICTを活用すれば、予想を共有する際、発表する必要がないため、ICTを使う前よりも自分の考えを表出しやすくなると考えます。また、クラス全員の予想が**即時に視覚化**されるので、**予想や理由のずれに気付かせやす**くなります。

ICT
活用の
Point

業実践

恵町立須恵中学校
諭 松崎 哲也

比較しやすい。

5時間の確保ができる。

で見いだした「回路を流れる電流の
。」という決まりは、「豆電球が
るだろうか。」という課題に対する
検証する実験の計画を立てています。

まとめ

中学校 第2学年
理 科

Click!

◀ MAIN MENU

他の班の計画と比較し、 自分の班の計画を再検討

展開後半場面



交流の視点

共通点
差異点

プレゼンテーションソフトに班の計画を貼り付けて共有し、比較します。その後、他班の計画と比較し、自分の班の計画を再検討します。

検討する際に、各班の計画の共通点や差異点に着目させ、自分の班の計画を再検討させました。

これまでの授業では、生徒が考えた考察や描いたモデルを教師がいくつか選択し、全体で紹介し、共有していました。この方法だと、共有するまでに時間がかかってしまいます。また、教師が選択したものを単に写す作業になってしまい、授業のねらいから外れる場合もありました。

ICTを活用すれば、即時に共有できるので、自分の班の計画を説明する時間が省略できます。それにより、自分の班の計画と他班の計画の共通点や差異点をもとに計画を再検討する時間を確保できます。

ICT
活用の
Point



実践

須恵中学校
松崎 哲也

比較しやすい。

時間の確保ができる。

見いだした「回路を流れる電流の」という決まりは、「豆電球がたろうか。」という課題に対する検証する実験の計画を立てています。

まとめ



Click!

中学校 第2学年
理科



MAIN MENU

表現を記録したり聴きたい部分を聴いたりしよう

これまで

即興的に演奏した表現を記録したり、鑑賞曲の聴きたい部分だけを聴いたりすることが難しかった。

ICT 活用

カメラ機能で表現の記録、協働学習支援ツールで創作表現や鑑賞曲の共有

- ★創作表現を即時的に記録し、いつでも確認することができる。
- ★自分の聴きたい部分だけを聴き返すことができる。
- ★共有することで他者の考えをいつでも参考にできる。

2/3時 目標

繰り返す!?変化する!?「交響曲第5番ハ短調」の動機
曲想と音楽の構造とを関係的に捉え、
音楽のよさや美しさを見いだすことができる。

動機を使った音遊び(創作タイム)を通して、動機の反復や変化などの音楽の構造と曲想との関わりを捉え、交響曲第5番のよさや美しさについて話しています。

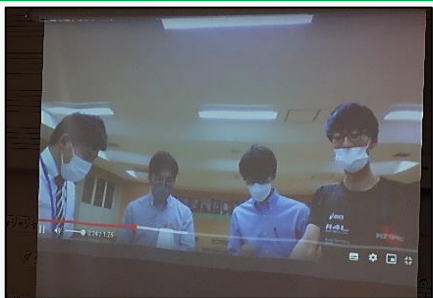
導入

展

開

終末

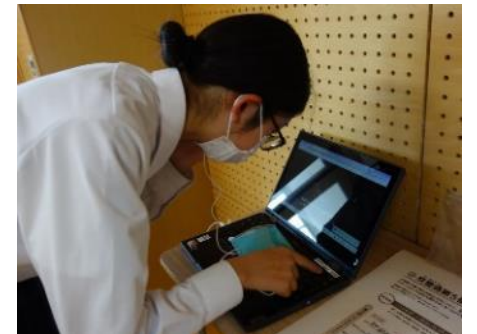
めあて
「交響曲第5番ハ短調」の
動機を使って遊ぼう



音遊びのモデルを視聴する。



動機を使った音遊びを
動画で記録・確認する [Click here!](#)



音遊びで捉えたことをもとに、鑑賞曲の
聴きたい部分を聴き、よさや美しさを伝え合う

[Click here!](#)

動機を使った音遊びを動画で記録・確認する

グループで遊んだことを動画で記録



記録した音遊びを確認



動画を確認して
客観的に自身の
表現を評価する

これまで、即興的に演奏した音楽は、**即時的に記録**することができず、自身の表現を客観的に評価することが困難でした。しかし、**動画撮影をして記録**した音遊びを確認することで、客観的に自身の表現を評価できるようになります。

評価することが容易になったことで、曲想と音楽の構造との関わりをより具体的に捉えることができるようになります。

ICT
活用の
Point



中学校 第2学年

音楽科



MAIN MENU

音遊びで捉えたことをもとに、鑑賞曲の聴きたい部分を聴き、よさや美しさを伝え合う

交響曲第5番の音源などを共有



交響曲第5番の聴きたい部分を聴き、全体で共有して、よさや美しさなどについて伝え合う



「交響曲第5番八短調」のよさや美しさ
音の重なりや、音の反復、楽器のハーモニーがすごく感じられるところ
私が思う「交響曲第5番八短調」の良さは、動機の数なり方や音色を生かして音楽を成り立たせているところだと思う。最初の音は一つの楽器だけで重なっているけれど、後の音は高い音から低い音まで重なって重厚感が漂うところが美しいと感じた。また、強弱が激しいところから静かなところに移り変わるとき、明るくて軽い音色がなり、節目のところでも動機を活用してるところもこの音楽の良さだなと感じた。
テンポが遅やかなところからだんだん速くなったり、音が強くなったり弱くなったりなどの音色の重なりが多く感じられるところ。
全く同じ動機を繰り返しても途中で感じてしまうので、テンポ・音程・演奏する楽器を変化させることで、何回動機の繰り返しを聴いても飽きないのが面白く感じることができるところがよさ。楽器によって動機を演奏したり他のリズムを演奏したりと、異なる音を弾いていても、音が混ざらず、綺麗に重なっているところが美しいところ。
音の強弱が激しくて、リズムがどンドン重なっていく感じがしたことや楽器によって音の雰囲気が変わるところ。
速さや強弱の激しさ、抱まるタイミングと、終わるタイミング。
1つの動機ははずなのに、音程やリズム、重なり方が変化することで雰囲気が変わり、同じ曲の中でも印象が違ってくる。

よさや美しさを共有

これまで、鑑賞曲の自分が聴きたい部分だけを自由に聴くことが困難でした。しかし、協働学習支援ツールで共有することで、自分が聴きたい部分やグループで確認したい部分を聴くことができるようになります。また、見いだした**音楽のよさや美しさも共有**することで、学級全体で交響曲第5番のよさや美しさを考えることができます。

ICT
活用の
Point



Click!

中学校 第2学年
音楽科

MAIN MENU

ICTを活用してペアやグループで オリジナルソングをつくろう

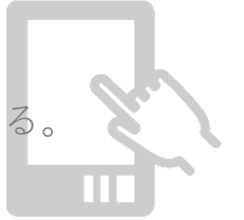
これまで

- ・ペアやグループの友達と旋律を共有しづらい
- ・記譜することが難しく、時間がかかる。

ICT
活用

一人一台端末を活用し、ペアやグループで創作を行う。

- ★試したい時に音を確認できる。
- ★ペアやグループで同時に旋律を入力でき、共有できる。
- ★容易に記譜することができる。



2/5時
目標

「日本の音階を使ってつくろう！」
曲想に合うオリジナルソングをつくることことができる。

曲想に合うオリジナルソングをつくるために、リズムや旋律などの音楽を形づくっている要素の創意工夫をペアやグループで考える。

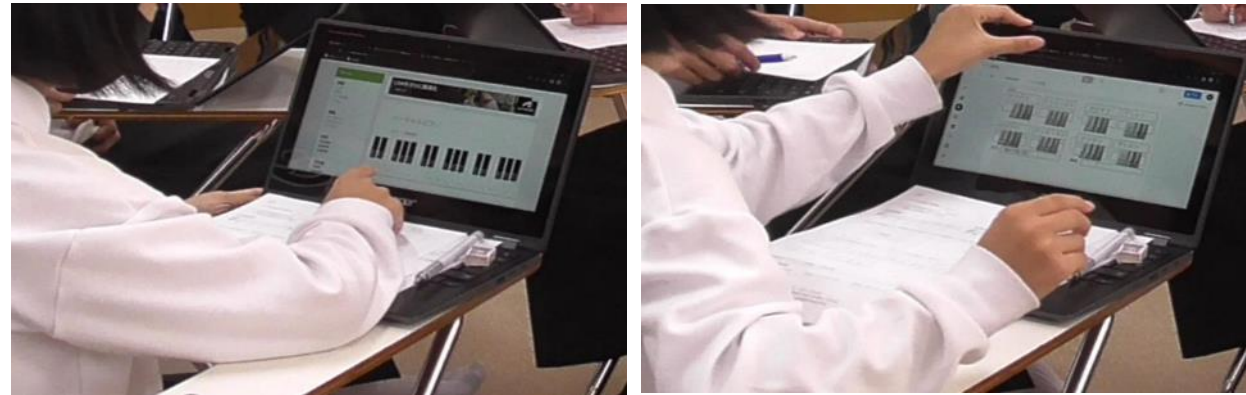
導入

展開

まとめ

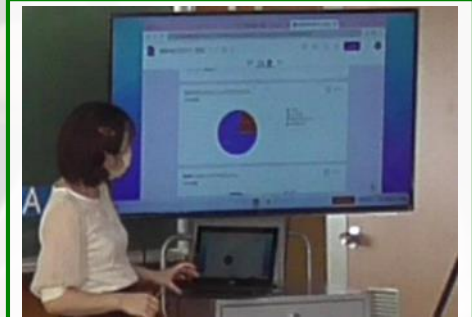
いくつかの楽曲を聴き、どのような曲想を感じ取ったかを学級全体で交流する。

めあて
曲想に合うオリジナルソングをつくろう。



バーチャルピアノで音を確認して試行錯誤し、考えた旋律をジャムボードに入力して、ペアやグループの友達と共有

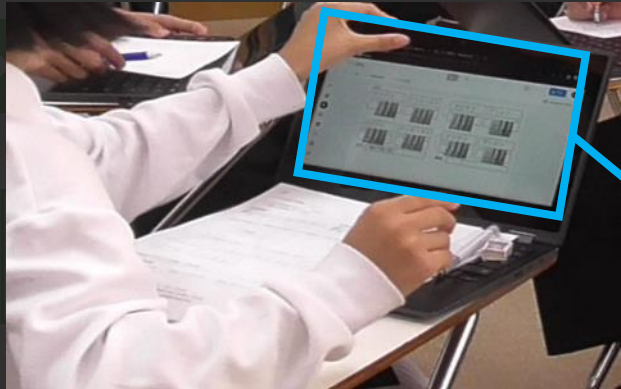
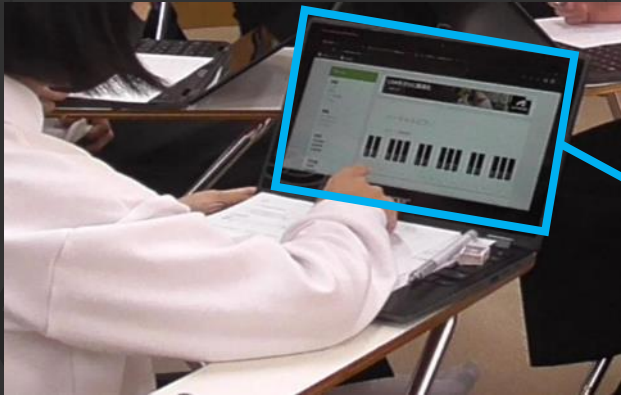
Click here!



アンケート機能で本時の振り返りをすぐに集計し、学級全体で授業を振り返る。

旋律を考え、ペアやグループで共有する

これまで

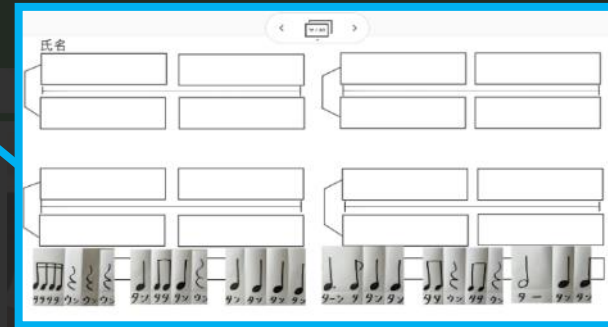


バーチャルピアノ…旋律をつくる時に活用



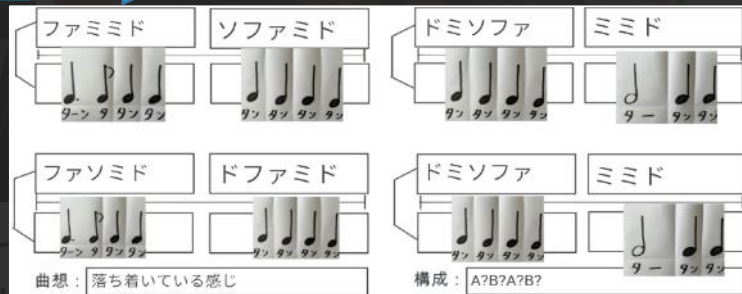
一人一台端末のため、自分が試したい時にすぐに音を出して試すことができる。鍵盤に音名を表示できるため、簡単に音を出して試すことができる。

ジャムボード…つくった旋律を共有する時に活用



ペアやグループで共同編集ができ、同時に作業が可能。リズムは画像を貼りつけておくことで、簡単に創作できる。

入力の例



ICTを活用することで、考えた旋律を、友達と同時双方向的にやり取りして共有することができます。また、簡単に音を試すことができるので、楽器の準備や交代で演奏する必要がなく、時間を効率的に使うことが可能となり、創作にかかる時間を長く確保できます。

ICT
活用の
Point

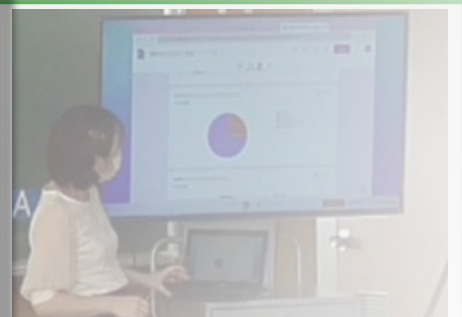


できる。



するために、リズムや旋律などの
夫をペアやグループで考える。

まとめ



アンケート
返
体で授業
Click!

中学校 第2学年
音楽科

ICTを活用して材料の特徴を共有しよう

これまで

- ・気付きを言語化するのが難しい。
- ・個人の気付きに留まり、共有が難しい。

ICT
活用

AIテキストマイニング
を使って、材料の特徴への
気付きをキーワードで表示

子供同士の材料の特徴への気付きを整理・共有できる。

- ★ すぐに整理された全員の気付きを確認することができる。
- ★ キーワードで表示されるので気付きを共有しやすい。

1/8時
目標

切って、つなげて、組み立てて！「すてきな段ボールのまち」
段ボールに働きかけて遊んだり、用具を使ってできることを
試したりしながら、材料の特徴に気付くことができる。

材料としての段ボールの特徴への気付きをキーワードで視覚化し、
整理・共有することで、本題材での表現に生かすことができます。

導入

展開

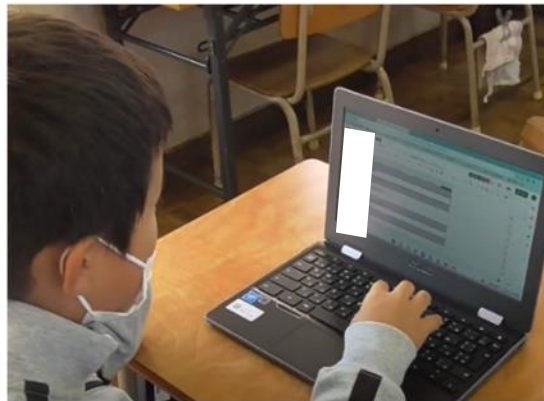
終末

めあて

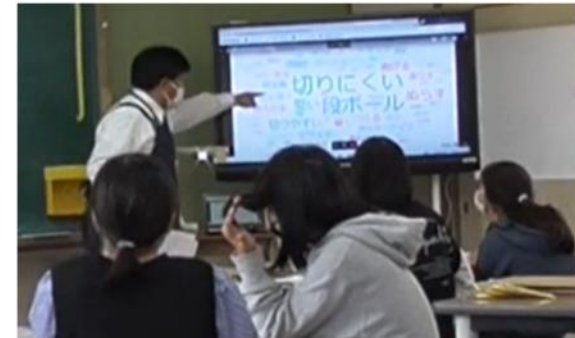
段ボールで遊んだり、どんなことができるか試したりしながら、段ボールの特徴を見付けよう。

「材料体験活動」で、
①段ボールだけで、②段ボールと用具を使って、遊んだり試したりする。

いろいろな形や大きさ、
材質感が異なる段ボール
に出会う。



活動で気付いたことを
スプレッドシートに入力する **Click here!**



材料の特徴をキーワードで
共有する **Click here!**

活動で気付いたことをスプレッドシートに入力する

スプレッドシートに入力する

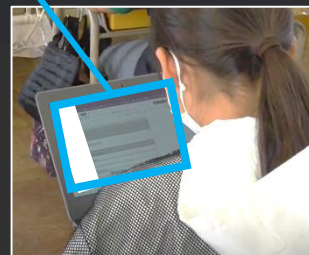
友人の感想や気付きを参考にする



共有

授業でしたこと、気づいたこと、もっとしたいこと など
ポスト入れをつくってみたい。段ボールは切りにくかった。くっつけるのが難しかった。段ボールでポストや貯金箱みたいな物をつくりたい。家とかもつくって家族に自慢したい。家族につくりかたを教えるように説明できるようにしたい。切ったり、ぬらしたりしたら柔らかくて曲げたり折ったりできて便利。カッターがなかったら切れなかった。
カッターで切ったりしました。切りにくかったです。紙に水をつけることをしたいです。紙は堅かったです。技を重なりたいです。
段ボールをカッターで切ったり、手で割いたり、やぶいたり、はいだり、曲げたりして四角形を作ったりしました。次は、家を作りたいです。手で破ったりできないことです。水で濡らしたら手でも切りやすくなりました。カッターだと切りやすいのですが段ボールの角が真りに取らなくて掃除が大変でした。段ボールを切ったり破いたりしたらやぶりが取らるので後から片付けが大変でした。みんなで掃除をしたらすぐにきれいになりました。みんなで協力してがんばりたいです。図工の後の片付けもがんばります。

児童一人一人の入力した感想が一覧で画面に表示されます。



端末の画面を見ながら、友人の感想を参考にして入力できます。

これまでは活動を通して児童が気付いたことを発表させ、まとめることに時間がかかることがなかったでしょうか。しかし、端末上に感想や気付きを入力させれば、**全員の気付きを同時に把握**することができます。また、気付きを言語化することが苦手な児童にも**友人の感想などを参考に考えを表現**させることができます。

ICT
活用の
Point



整理・共有できる。

確認することができる。

気付きを共有しやすい。

気付きをキーワードで視覚化し、表現に生かすことができます。

終末

小学校 第5学年
図画工作科

MAIN MENU

導入

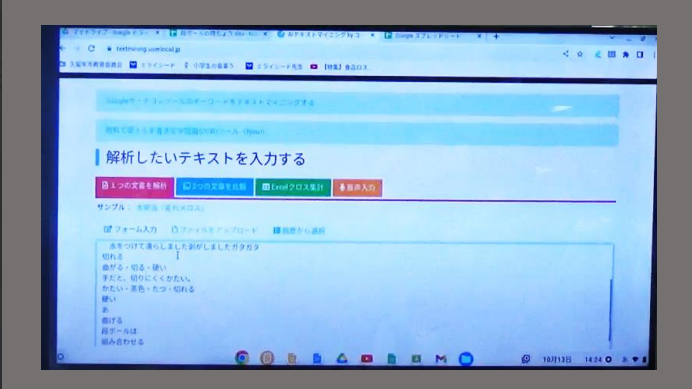
展開

終末

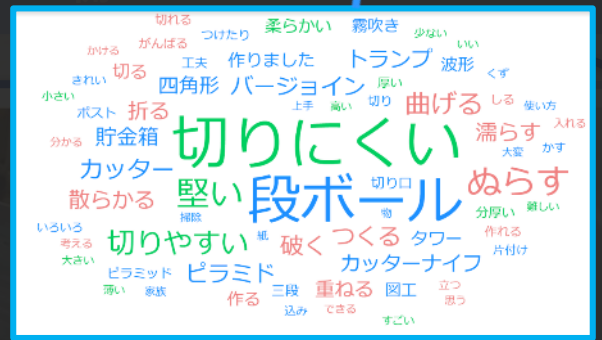
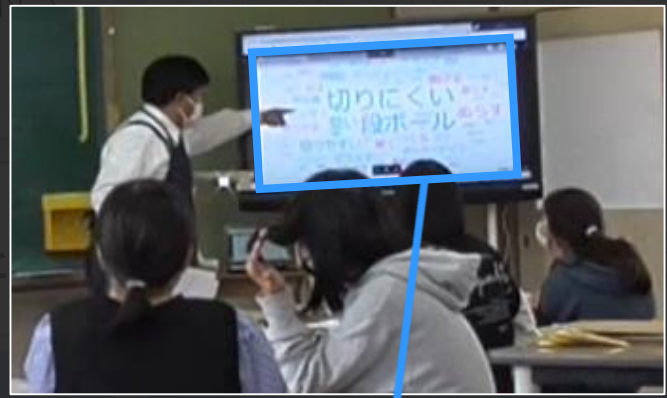
材料の特徴をキーワードで共有する

AIテキストマイニングを用いて 気づきをキーワードで集約する

気づきをキーワードで共有する



整理



スプレッドシートに入力された感想や気づきをAIテキストマイニングで整理します。

材料の特徴についてキーワードを視覚化することで、友人の気づきも共有して表現の見通しをもたせることができます。その際、キーワードと児童の活動をつなぐことができるように活動の写真などを一緒に掲示すると表現に生かしやすくなると思います。

児童が、端末に自分の感想などを限られた時間内にキーボード入力できるように、**日頃からタイピングの指導**をしておきたいですね。

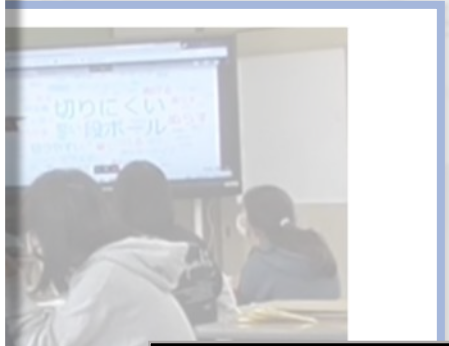
ICT
活用の
Point



整理・共有できる。
確認することができる。
気づきを共有しやすい。

気づきをキーワードで視覚化し、
現に生かすことができます。

終末



小学校 第5学年
図画工作科

◀ MAIN MENU

1
目

材
に

動画で運動の行い方を分担して学習しよう

これまで
複数の運動の行い方を
同時に学習することが
難しい。

ICT
活用

事前に撮影した示範動画を
Google Classroom
にアップロード

- 個々の学習内容に応じて効率的に知識を習得することができる。
- ★ 複数の運動の行い方を動画で同時に示範することができる。
 - ★ 生徒が自分の担当する運動に応じて動画を選ぶことができる。
 - ★ 教師は指導や支援に集中することができる。

5/7時
目標

体づくり運動（「体の動きを高める運動」）
ねらいの異なる4つの運動の行い方について分担して学習する。

ねらいの異なる4つの運動のうち、自分が担当する運動の行い方を動画で視聴して、実際にやってみながら、それぞれの運動の適切な回数、時間、強度調整の仕方を他者に説明することができるようにしている。

導入

体ほぐしの運動と体の動きを高める運動の行い方の違いについて見通しをもつ。

めあて
体力を高めるための運動の意義と運動の行い方を分担して学習し、その内容を友達に説明する準備をしよう。

展開



ねらいの異なる運動の行い方を分担して学習する。
Click here!

自分が担当する運動を友達に説明することができるように、伝達シートを作成する。

自分が担当する運動を学習して分かったことや気付いたこと、友達に説明する準備をするうえで工夫したことを振り返る。

まとめ

導入

展開

まとめ

自分が担当する運動の動画を視聴する。



5月

体
体
運
い
を

ねらいの異なる4つの運動の様子を事前に撮影して、Google Classroomにアップロードしておきます。生徒は自分が担当する運動を選択します。

視聴する運動を選択します。

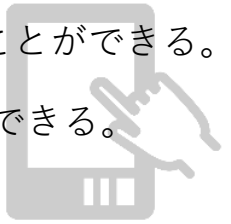
具体的な運動の行い方を動画で視聴できるようにすることで、授業者の示範や説明を待つことなく、一斉に担当する運動の学習を始めることができます。

これまで授業者が複数の運動を示範する場合、その間の生徒への指導や支援が十分に行き届かなかったことはないでしょうか。ICTを活用すれば、上記の活用のように**同時に複数の運動を示範**することができるため、生徒への指導や支援が細かく行き届くようになります。また、生徒が運動の行い方を分担して学習できるようにすることで、それぞれが担当した運動を**友達と交流する**ことにつながります。ICTを活用することは生徒、授業者ともにメリットが大きいです。

ICT
活用の
Point



示範することができる。
選ぶことができる。
できる。



自分が担当する運動の行い方を動画で、それぞれの運動の適切な回数、視聴することができるようにしている。

まとめ

分担して学習して分かったことや気付いたこと、運動を友達に説明するために工夫したことを振り返る。



中学校 第1学年
保健体育科

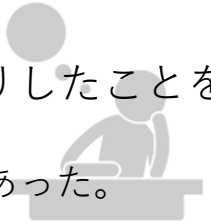


MAIN MENU

ICTを活用して 自分の考えや気持ちを伝える文をつくらう

これまで

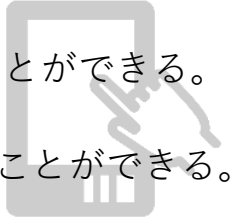
音声でやり取りしたことを
書くことに
高いハードルがあった。



ICT
活用

授業支援クラウドで
文をつくる活動を
設定する

- ★ 色や音声、イラストをヒントに文をつくることができる。
- ★ 語句のまとまりを意識して四線上に正しく書くことができる。



6,7/8時
目標

ALTにおすすめのスープを紹介しよう “Let's think about our food.”

自分のおすすめのスープの良さを伝える文をつくり、書き写すことができる。

音声で身に付けた表現を使い、実際に書く前に語句カードをタブレット上で並べて文をつくる活動を位置付けることで、書いて伝えることにつなげます。

第6時

めあて
やり取りをして、おすすめのスープの良さを伝える文をつくらう。



おすすめのスープの写真を
見せながらやり取りをする。
やり取りを通して音声で十分に
慣れ親しむ。

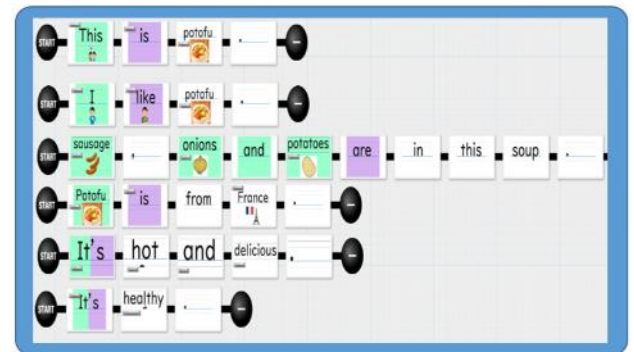


イラスト、音声、色をヒントに
語句カードを選択し、並べて
文をつくる

Click here!

めあて
おすすめのスープについて、
伝える文を書き写そう。

第7時



つくりためた文を書き写す

Click here!

語句カードを選択し、並べて文をつくる

語句カードの仕組み

必要な語句カードを選択する

並べて文をつくる



音声

音声と文字をつなぐ

ALTと協力して音声を入れます

イラスト

意味のヒント

イラストの有無は児童が選択できます

色

語順のヒント



語句カードを並べて文をつくっているところです

これまでは、音声で伝えることができたとしても、書くとなると難しさを感じたり相手に伝わるように書くことができなかつたりする児童がいたのではないのでしょうか。語句カードに、音声やイラスト、色をつけることで、**音声や意味を文字とつなげたり語順のヒントにしたり**することができ、書くことにつなげることができます。

ICT活用のPoint



Click!

小学校 第6学年
外国語科

← MAIN MENU

宮若西小学校
あや



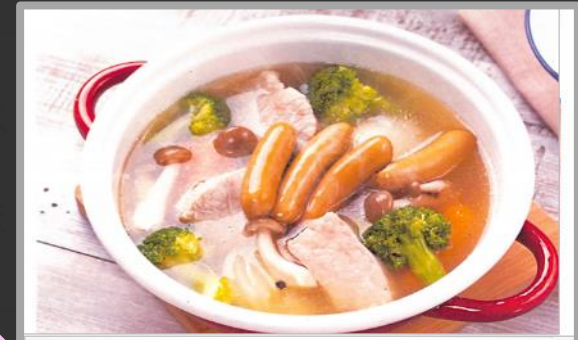
並べて文をつくることで

終末

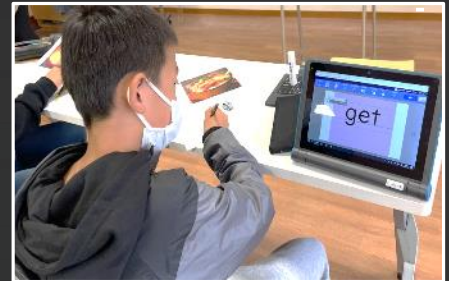
つくりためた文を書き写す

つくりためた文

構成を考えて完成した文




伝えたいことを強調するために、文の順番を入れ替えています



正しい文字の位置を確認しながら書いています

- 正しい文字の位置
- 語句の間に適切なスペース

文を書き写す前に、**全体の構成を考えて文の順番を入れ替え**ます。
 入れ替えの操作が容易に行えるため、児童は試行錯誤を繰り返すことができます。
 また、語句カードを並べてつくった文を書き写すことで、**語句のまとめ**りを意識して四線上に正しく書くことができます。



小学校 第6学年
外国語科



ICTでよりよいスピーチにしよう

これまで
生徒が発話内容を客観的に
見て、修正・改善する
ことが難しい。

ICT
活用

- ・カメラ機能で
動画撮影・再生
- ・教師とカードの
やり取り

- ★生徒が発話を**何度も**見直すことができる。
- ★生徒が自分で語彙や表現を調べたり、
教師から**個別にアドバイス**をもらうことができる。



全11時

A Speech about My Brother
ALTの先生に、自分の好きな有名人を紹介しよう

「ALTの先生に自分の好きな有名人を紹介するために」という目的のもと、言語材料を学び、人物紹介を行います。

第1次

導入

展開

終末

第2次

導入

展開

終末

第3次 ...

めあて
言語材料や教科書の
語彙や表現を使って、
人物紹介をしよう。

単元の言語材料や
教科書の本文を
確認する。

学習した言語材料を
使って、伝えたい人物を
動画で撮影する。

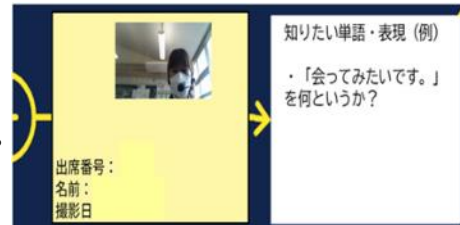


撮影後、発話内容を
見直す。

Click here!



...知りたい語彙や表現を自分で
検索する。



知りたい語彙や表現について
先生からカードで
アドバイスをもらう。



アドバイスを基に、生徒は
発話内容を修正・改善する。

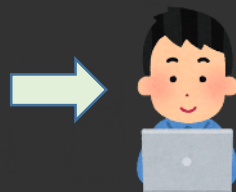
Click here!



知りたい語彙や表現を増やし、発話内容を修正・改善する

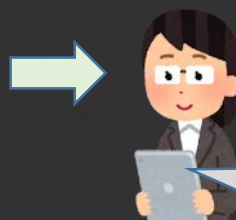


生徒 撮影後、発話内容を見直す。



生徒

知りたい語彙や表現を自分で検索する。



教師

知りたい語彙や表現について先生からカードでアドバイスをもらう。

「メンバーカラー」を英語で何と言うか？

「〇〇と一緒に〇〇している」と言いたい

「ゲーム実況の人」を英語で言いたい

「〇〇は～のメンバーだよ」と言いたい

「頑張ってね」と言いたい

「保育士」って英語でどう言いますか？

「マイクラ」を英語でなんと言うか？

「尊敬する」という単語を知りたい

「会ってみたいです。」を何というか？

これまで、みなさんは「生徒一人一人に個別に対応することが難しい」と感じたことはありませんか。しかし一人一台端末を使えば、知りたい語彙や表現について、**生徒は自分で検索**したり、教師とカードのやり取りで**個別にアドバイス**をもらったりすることができます。

ICT
活用の
Point

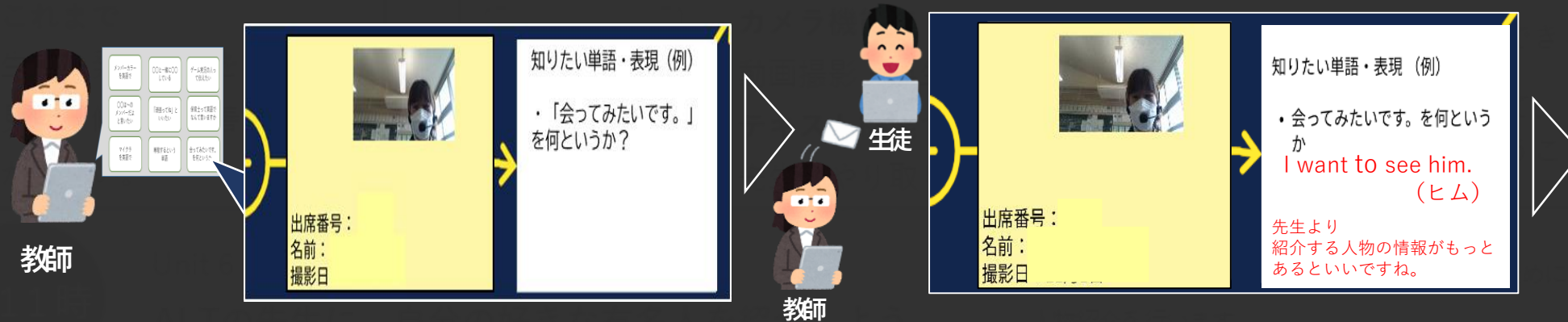


中学校 第1学年

外国語科

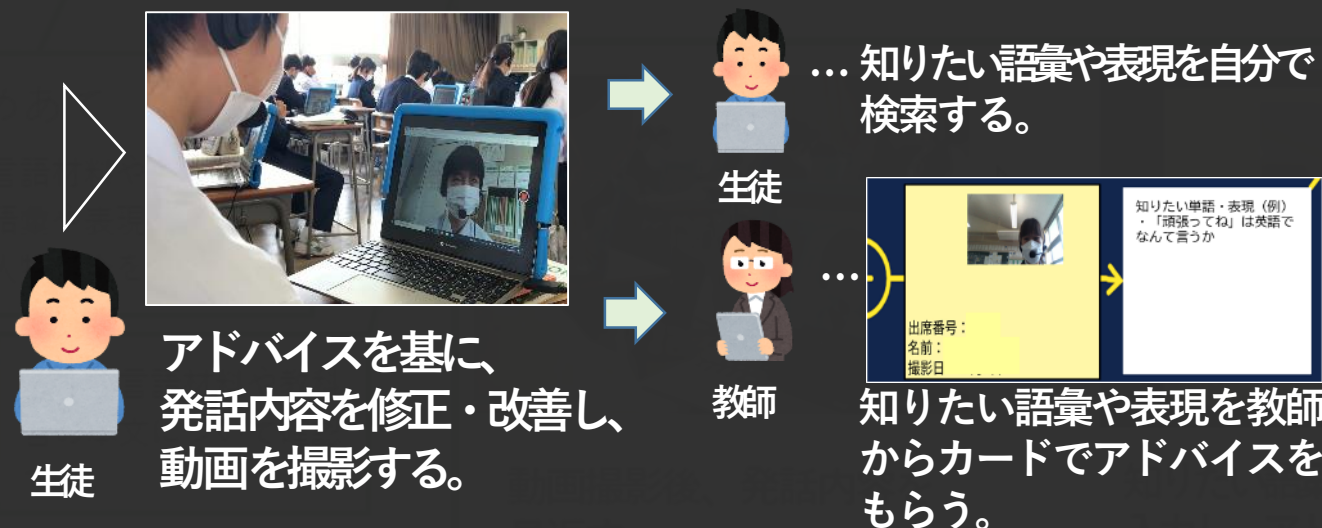
Click!

テキスト機能を使って、個別にアドバイスをもらう



生徒のテキストを選択する。

動画を見て個別にアドバイスをを入力する。



一人一台端末を活用すれば、生徒が知りたい語彙や表現についてカードで教師とやり取りすることができます。

この流れを単元の中で繰り返すことにより、よりよいスピーチをすることができます。

ICT活用のPoint

実践
野市立筑紫野南中学校
花田 恵子



... ができる。

... という目的のもと、言語材料を学び、

Click!

中学校 第1学年
外国語科

地域の防災マップ作成に 必要な情報を集めよう

これまで
与えられた資料やGTの話等で
情報を収集していた。
自分たちで課題解決の見通し
をもち、必要な情報収集
ができなかった。

ICT
活用

電子地図等のアプリ
ケーションを使った
情報収集

児童が自分たちの課題に応じた情報を収集することができる。

- ★ 課題解決の見通しをもつことができる。
- ★ 場や時間の制約にとらわれず、効率的に
情報収集をすることができる。



4/9時
目標

○地域の防災マップとマイ・タイムライン（一人一人の具体的な避難計画）を作ろう

自分たちで課題解決の見通しをもち、地域の防災マップを
作成するために必要な情報を収集することができる。

地域の防災マップ作成に向けて、自分たちに必要な情報を収集するために、
課題解決の見通しをもち、電子地図やハザードマップなどを使って情報を収
集します。

つかむ

調べる

深める


いかす

めあて
自分たちで情報を集める方法を選び、
防災マップに必要な情報を集めよう。



自分たちの課題に応じた
情報収集の見通しをもつ



見通しをもって、効率的に
必要な情報を収集する
Click here! 

つかむ

調べる

深める

いかす

実践

市立飯塚東小学校
桑岡 貴志

することができる。

的に



に必要な情報を収集するために、
ードマップなどを使って情報を収

いかす



小学校 第4 学年

総合的な学習の時間

Click!



MAIN MENU

課題解決の見通しをもち、効率的に情報を収集する

【土地の高低を調べる】



国土地理院 電子地図(デジタル標高地形図)
<https://www.gsi.go.jp/>



土地の高低差を色分けした電子地図（デジタル標高地形図）を使って、家の周りや通学路などの土地の高いところや低いところを調べます。

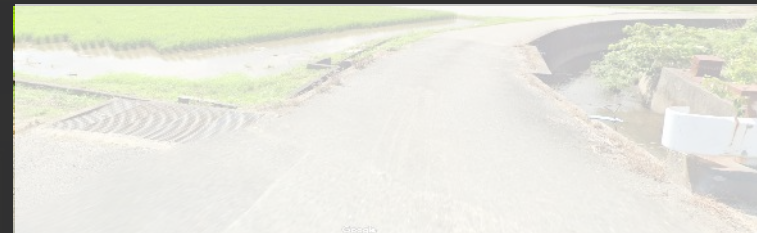
【浸水危険区域などを調べる】



国土交通省 重ねるハザードマップ
<https://disaportal.gsi.go.jp/maps>

ハザードマップを使って、浸水の危険が想定される区域や避難所の場所などを調べます。

【小さな道や水路などを調べる】



Google Mapを使って、フィールドワークで調べることができなかった小さな道や水路などを調べます。

自分たちで課題解決の見通しをもつことで自分に必要な情報を収集することができ、

児童が主体的に活動に取り組むことができます。また、場や時間の制約にとらわれず、

効率的に情報を収集することにつながります。

ICT
活用の
Point



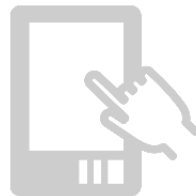
ICTを活用してプログラミングをしよう

これまで
みんなが同じプログラムを
作っていた。課題を解決
するために試行錯誤を
繰り返すことが必要。

ICT
活用

ロボット教材で
試行錯誤を繰り返し
ながらプログラムを作る

- 自由に動きや条件を組み合わせることができる。
- ★ 作ったプログラムを**すぐに動かす**ことができる。
 - ★ 実行した後、**すぐに改善する**ことができる。



5・6/10時
目標

「生活を豊かにするプログラミング」
目的に応じて動きや条件を組み合わせ、環境に配慮した扇風機を
作ることができるようにする。

自分たちが作りたいものを明確にして、試行錯誤を繰り返したり、友達と交
流したりしながら生活を豊かにするための扇風機のプログラムを作ります。

導入

展開

終末

めあて
生活を豊かにする扇風機のプログラムを
作ろう。



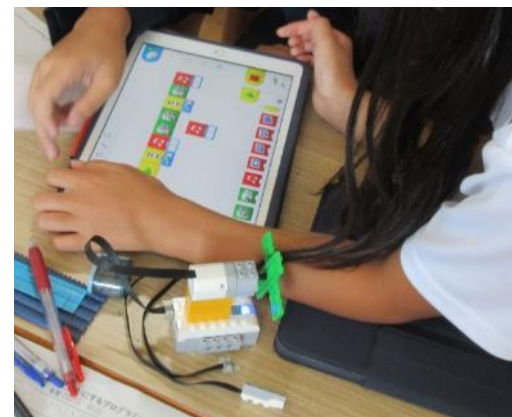
問題場面を動画で共有
して課題を明確にする。



動きや条件を組み合わせ、**Click here!**
自分でプログラムを作る



実際に動かしたり友達と交流したりしながら
プログラムを作る

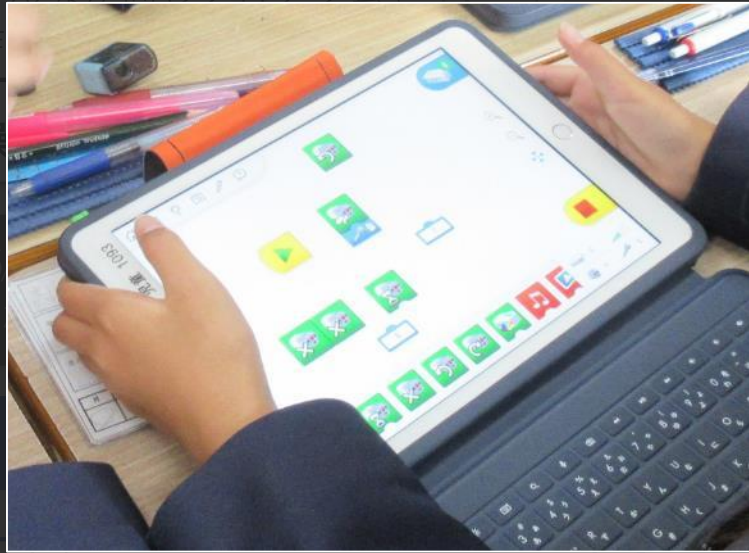


Click here!

◀ MAIN MENU

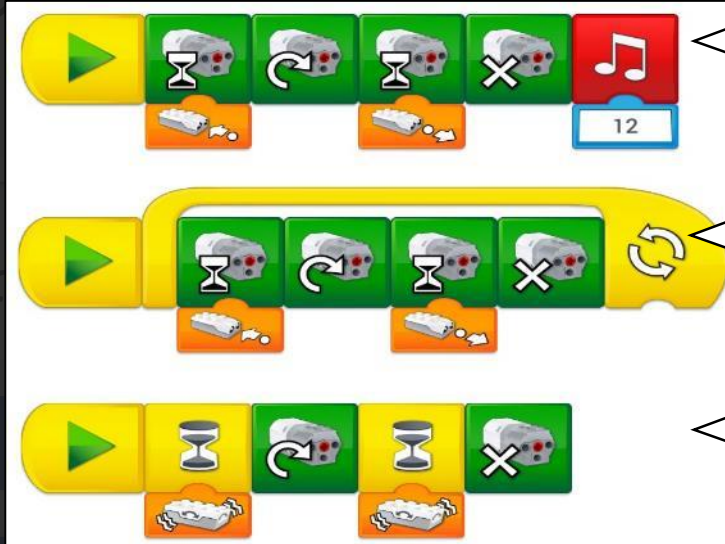
動きや条件を組み合わせる

動きや条件を組み合わせる



「モーターを回転させる」「止める」などの動きや「何か近づいたら」「ボタンを押したら」などの条件を組み合わせる。

目的に合わせてプログラムを作る



近づいたら動いて、離れたら止まる。最後に音が鳴る。

近づいたら動いて、離れたら止まる。この動きを繰り返す。

振動したら動いて、振動したら止まる。

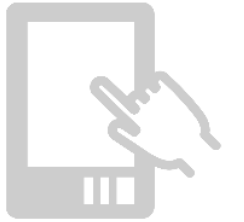
様々な組み合わせ方をすることでよりよく課題を解決するためのプログラムを完成させる。

様々な動きや条件を組み合わせることで自分の目的にあった動きをさせるプログラムを作ることができます。自分が目指している動きをさせるために試行錯誤を繰り返し、プログラミング的思考を働かせてプログラムを作ることが大切です。

ICT
活用の
Point



実践
は市立御幸小学校
井上 聖詞



できる。
ができる。
できる。

行錯誤を繰り返したり、友達と交
の扇風機のプログラムを作ります。

終末



小学校 第5学年

総合的な学習の時間

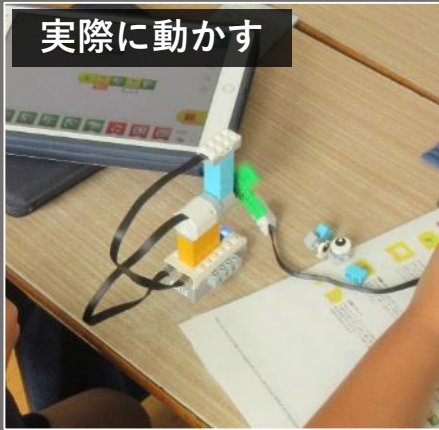
MAIN MENU

実際に動かしたり、友達と交流したりしながらプログラムを作る

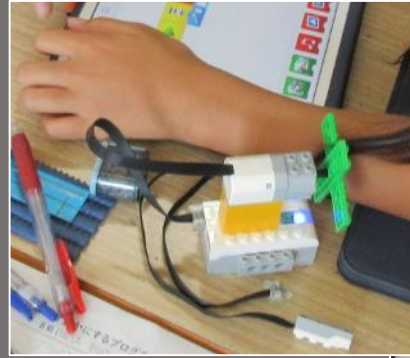
試行錯誤しながらプログラムを作る

目的に合ったプログラムを完成させる

実際に動かす



友達と交流する



実際に動かしながらプログラムを作る。

生活を豊かにする扇風機のプログラムを作ろう。

交流をしながらプログラムを作る。

実際に動かすことで試行錯誤しながらプログラムを作る。

提出したものを基に交流することで試行錯誤しながらプログラムを作る。

実際に動かしたり、友達と交流したりすることで試行錯誤を繰り返し、目的にあった動きをさせるプログラムを作ることができます。目的を達成するために、「**考えて、実行して、また考え直す**」を繰り返すことでプログラミング的思考を働かせながらプログラミングに取り組むことができます。

ICT
活用の
Point



実践
は市立御幸小学校
井上 聖詞



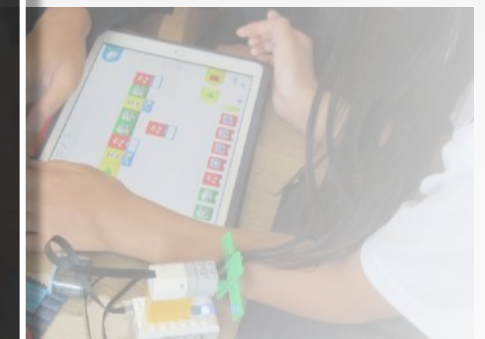
できる。

ができる。

できる。

試行錯誤を繰り返したり、友達と交流しながら扇風機のプログラムを作ります。

終末



小学校 第5学年

総合的な学習の時間



MAIN MENU

まちづくりに参加しよう！

これまで
情報収集に**時間**が
かかる。



ICT
活用

多様で大量の情報
を素早く調査し、
再構成できる。

確かな情報を効率的に収集して共有することができる。

★ 情報やデータを活用することで、**確かな根拠を
基にして考える**ことができる。

★ データや考えを効果的に**共有**することができる。



2,3/7時
目標

総合的な学習の時間「地域活性化プロジェクト」×社会科公民的分野「くらしを支える地方自治」
地域の特徴をつかみ、課題を考えよう

思考ツールの活用によって、総合的な学習の
時間と各教科の見方・考え方を横断的、総合
的に働かせる場面が広がります。

つかむ

見通す

つくる


振り返る

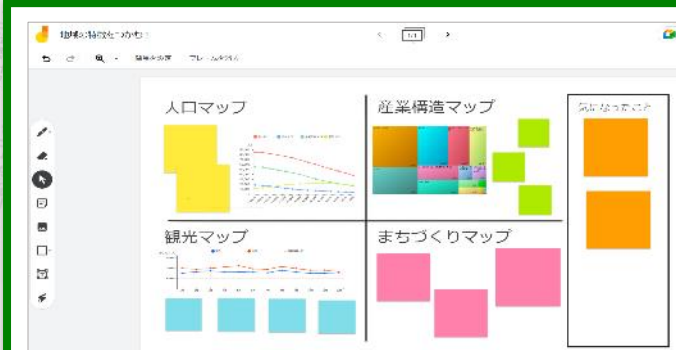
学習課題
「地域の特徴を
つかもう」


クラウド上に保存・蓄積
された学習履歴（例：第
1学年地理的分野「身近
な地域の調査」等）を振
り返り、活用する。



(<https://resas.go.jp/>)

地域経済分析システムRESAS（内閣府・経済
産業省提供）を活用し、自分たち
の身近な地域の**情報を収集**する。Click
here! 



Google Jamboard を活用し、集めた
情報を比較したり、分類したり、関連付け
りしながら自分の考えを形成。Click
していき**整理・分析**を行う。here! 

グループで共有し
た意見をまとめ、
実物投影機に映し
出し、発表する。

他のグループの発表を聞いて
考えを付加・修正・強化する。
→内容と方法を振り返り、新
たな探究課題（課題の原因、
政策アイデア）を設定する。

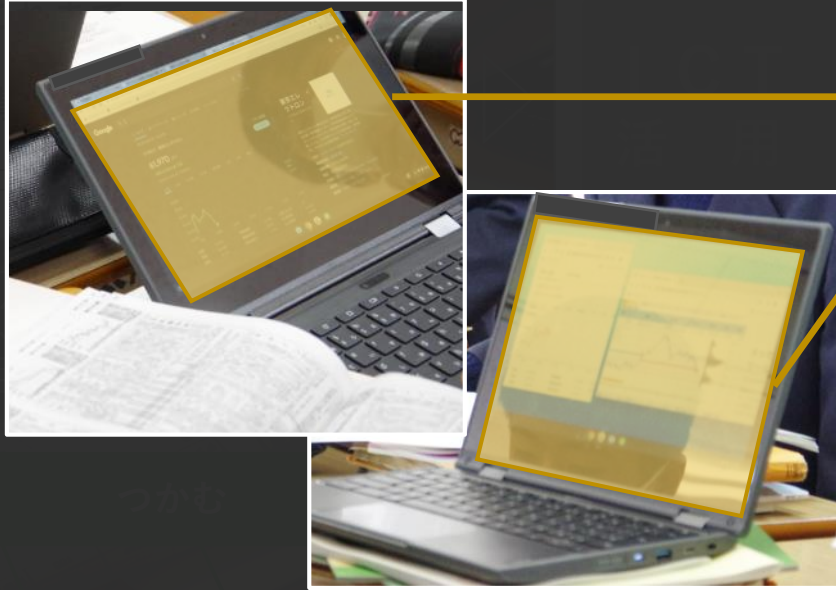
つかむ

見通す (解決の見通し)

つくる (課題解決への取組)

ふり返る

見通しをもって情報を収集する



RESAS (リーサス) : 地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣府が提供している地域経済分析システム (<https://resas.go.jp/>)

RESAS (リーサス) を活用すれば、膨大な情報源の中から、目的に応じて、必要な情報を適切に取り出し、広範な事象を多様な角度から捉えることができます。国が提供する正確なデータが活用しやすい点が特徴です。

これまでの調べ学習は、教師がテーマを設定し、生徒は与えられたテーマについて情報を集めて書き写すだけになってしまっていました。探究的な学習では、生徒が実社会や実生活に向き合う中で、自ら課題を発見し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と協働したりしながら学びを深めていくことが重要となります。ICTの活用によって、**多様、大量、最新の情報を、いつでも、どこでも、素早く収集し、情報の蓄積による個に応じた課題の設定も可能になります。**

ICT
活用の
Point



実践
市立見崎中学校
教諭 野口 朋美

きる。
確かな根拠



よって、総合的な学習の時間
え方を横断的、総合的に働か
探究的な学習過程が充実する。

振り返る

グループで共有し
意見をまとめて、
実物投影機に映し
出して発表する。

他のグループの発表を聞いて

中学校 第3学年

総合的な学習の
時間 × 社会科



Click! MAIN MENU

つかむ

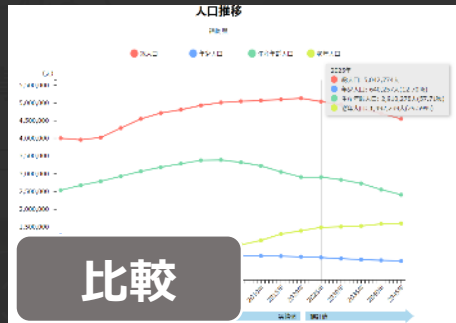
見通す (解決の見通し)

つくる (課題解決への取組)

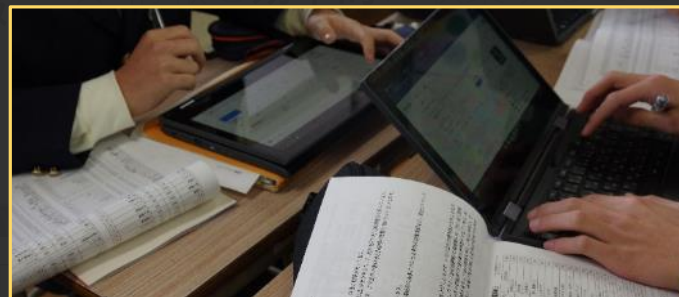
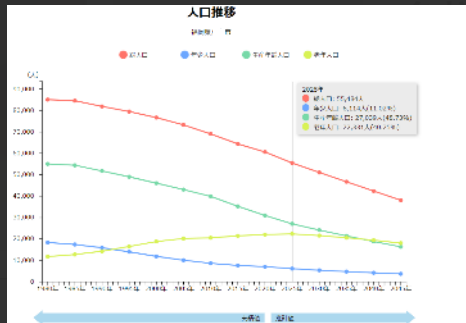
ふり返る

共通の思考ツールを用いて考えをつくる

個別 + 協働



比較



分類・関連付け

Jamboard(ジャムボード)を活用し、必要に応じて資料を取り出し、読み取ったことや気付いたことについて、1つの情報を1つの付箋に記入し貼っていきます。

Jamboard (ジャムボード)を活用し、他者との意見共有、比較検討、合意形成、アイデア創出、発表資料の共同編集や制作等を行います。

探究的な学習では、単元を通して①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現の探究のサイクルを繰り返すことや、他者と協働して主体的に取り組む活動にすることで、自らの考えや課題が新たに更新され、問題意識や解決意欲の高まりに繋がります。ICTを活用し、共通のツールを用いることで、思考も深まり、効果的に学習を進めることができます。

ICT
活用の
Point



実践
市立見崎中学校
教諭 野口 朋美

きる。
確かな根拠



よって、総合的な学習の時間
え方を横断的、総合的に働か
探究的な学習過程が充実する。

振り返る

グループで共有し
意見をまとめて、
実物投影機に映し
出して発表する。

他のグループの発表を聞いて
考えを

中学校 第3学年

総合的な学習の
時間 × 社会科



MAIN MENU

リーダーとして挑戦したいことを出し合い、 Yチャートで分類して役割を考えよう

これまで

- ・学習内容に沿ったワークシートの準備に時間がかかる
- ・全体で意見の視覚的な共有が難しい

ICT
活用

ロイロノートの付箋機能に自分の意見を記入

学習内容に合ったデジタル思考ツールを選択でき、ワークシートの準備に時間がかからない。

- ★ Yチャートを使って簡単に意見を分類・整理することができる。
- ★ 大型モニターを使って学級全体で意見を共有することができる。

1/1時
ねらい

学級活動（3）イ 「縦割り活動のリーダーについて考えよう」
縦割り活動のリーダーとしての役割を果たすことの意義を理解し、自分のよさを生かした行動目標を意思決定することができる。

縦割り活動のリーダーになるために挑戦したいことを出し合い、ロイロノートを使って自分たちで観点を決めて意見を整理することで、自分のよさを生かした行動目標を意思決定します。

つかむ

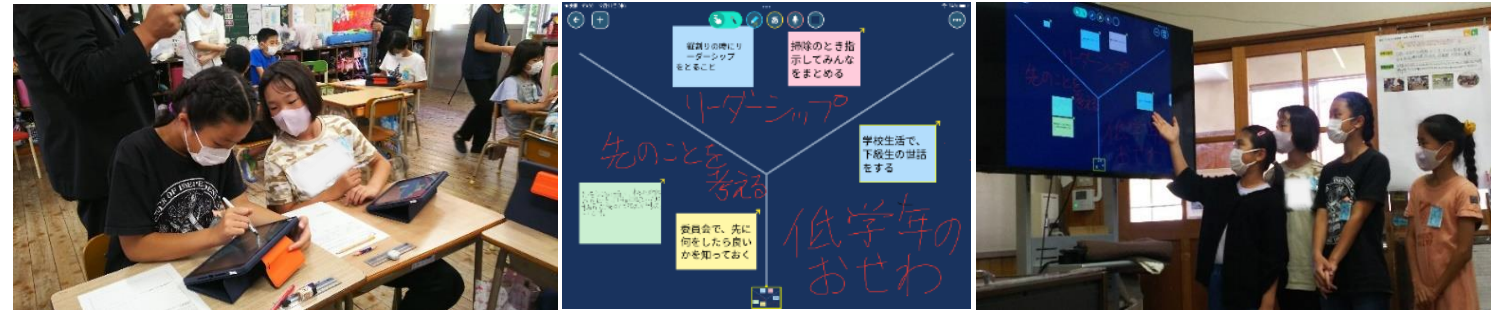
さぐる

見つける

決める

めあて

縦割り活動のリーダーにふさわしい自分になるために、今から挑戦していくことを決めよう。



グループで意見を出し合って分類し、
全体で意見を共有

Click here!

個人で意見をロイロノートに記入 [Click here!](#)

つかむ

さぐる

見つける

決める

個人で意見をロイロノートに記入

自分の意見を入力する

キーボードで入力する



手書きで入力する



**掃除のときに
指示をして
みんなをまとめる**

児童毎に付箋を色分けしておく
と分かりやすいです。

ロイロノートの共有ノート機能
を活用することで、他の児童の意見
を見ることができます。キーボード
入力が苦手な児童は、手書きで入力
してもよいと伝えることで、**自分
に合った入力方法で意見を表すこと
ができます。**

ICT
活用の
Point



実践
宇田市立上内小学校
宮島 翔平

選択でき、ワークシート

整理することができる。

を共有することができる。

したいことを出し合い、ロイロ
意見を整理することで、自分の
す。

決める



Click!

小学校 第5学年

特別活動



MAIN MENU

つかむ

さぐる

見つける

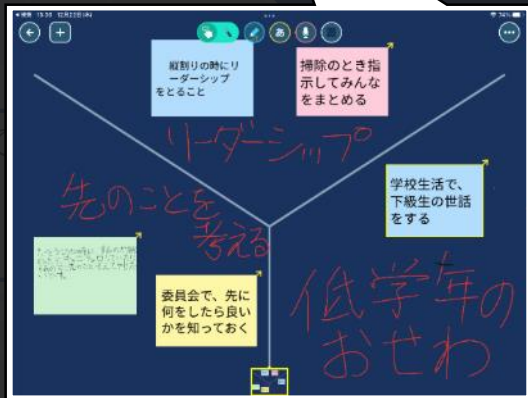
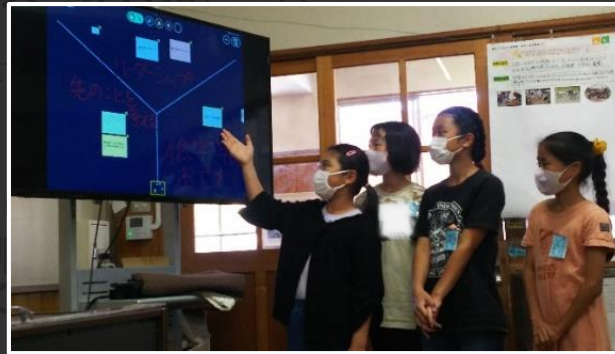
決める

グループで意見を出し合って分類し、全体で意見を共有

グループで出た意見を分類する



学級全体で交流する



今回は縦割り活動のリーダーに向けての役割や責任、やりがいなどに気付くことができるように、分類の観点を児童が考えるようにしました。

端末に入力した考えを大型モニターに表示し、学級全体で共有します。

出た意見を分類するために、思考ツールのYチャートを活用しました。ロイロノートには多様な思考ツールが入っています。学習内容やねらいに合わせて思考ツールを活用することが大切です。

ICT
活用の
Point



実践
宇田市立上内小学校
宮島 翔平

選択でき、ワークシート

整理することができる。
を共有することができる。

したいことを出し合い、ロイロ
意見を整理することで、自分の
す。

決める



小学校 第5学年

特別活動

Click!

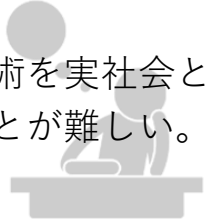


MAIN MENU

屋内配線工事の設計と施工をしよう

これまで

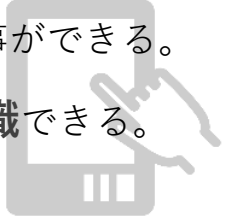
身に付けた技術を実社会と結びつけることが難しい。



ICT
活用

端末でのシミュレーションを通して屋内配線図を作成する。

倫理観を踏まえ、安全性や合理性のある屋内配線工事ができる。
★安全性や合理性のある**電気器具の配置や数を意識**できる。
★**何度も試行錯誤**しながら作ることができる。



1/1時
目標

屋内配線工事
倫理観を踏まえ、安全性や合理性のある屋内配線工事ができる。

電気事業法に基づく具体的に規定された内線規程に則った安全性や合理性のある屋内配線図を、家電製品や電気器具を操作して配置しながら、作成していきます。

課題の発見

計画の立案

計画の実施

振り返り



安全性と合理性を整理する

Click here!



家電製品や電気器具を操作して配置する

Click here!



設計した屋内配線図を基に施工する。

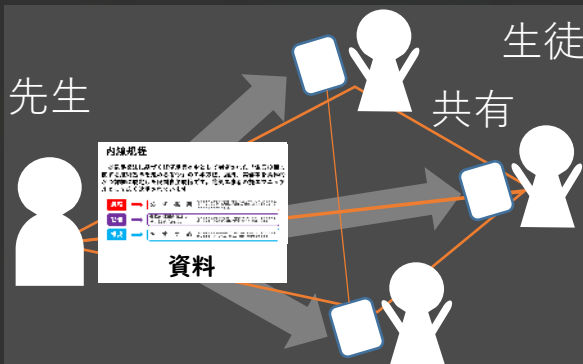
独自の屋内配線工事について、設計した理由と施工する際の留意点を根拠に基づき説明する。

画面上で設計における安全性や合理性を整理する

考えを入力



資料を一斉に配布でき、生徒が必要な情報を必要な時に自由に取り出すことができます。また、生徒間でシートを瞬時に共有することにより、考えの付加・修正が容易にできます。



共有前

設計 安全性
正しい配線
合理性
使いやすい

共有



共有後

設計について 安全性	
漏電して感電しないようにすること	1回路 20Aまで
合理性	
コンセントの個数は過電流にならないようにする	クライアントの需要を取り入れる

屋内配線工事を行う上では、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠になる電気事業法に基づき、具体的に規定された内線規程に則った安全性や合理性を考えた屋内配線図を設計し、施工する必要があります。端末を使うと、自分の考えが可視化でき、また、他者と瞬時に考えを共有することができるので付加・修正を容易にし、整理することができます。また、生徒の変容も確認することができ、学びをより正確に評価し、次のステップに向けて的確な支援できるようになります。

ICT
活用の
Point



実践

県立福岡工業高等学校
河上 信二

内配線工事ができる。
や数を意識できる。
きる。



規定された内線規程に則った線図を、家電製品や電気器具
成しています。

振り返り

独自の屋内配線工事について、設計した理由と施工する時の留意点を根拠に基づき説明する。

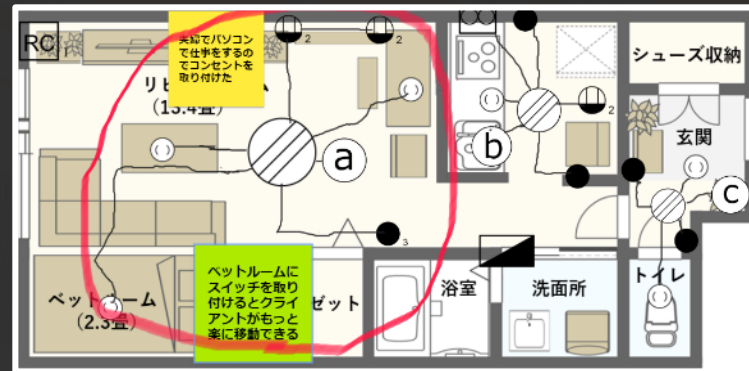
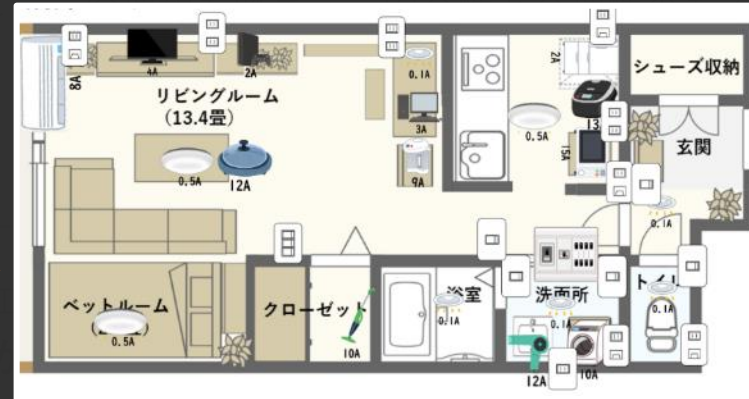
高等学校 第2学年
工業科

Click!

MAIN MENU

画像を操作して配置することで実社会をイメージする

画像を操作して配置



学びの道筋を**スタディ・ログ**としてデータを保存することもできます。

ICTの活用を通し、屋内配線図をモデル化でき、家電製品や電気器具を画面上で操作できるので、実社会をイメージできます。また、画像を配置し、生徒相互で自分が考えた配置について共有し、協議することで、科学的な根拠が明確になります。



ICT
活用の
Point

実践

県立福岡工業高等学校
河上 信二

内配線工事ができる。
や数を意識できる。
きる。

規定された内線規程に則った
線図を、家電製品や電気器具
成しています。

振り返り

独自の屋内配線工事について、設計した理由と施工する時の留意点を根拠に基づき説明する。



高等学校 第2 学年
工業科

Click!



MAIN MENU

ICTを活用して、学習を振り返ろう

これまで
単元のまとめの成果物の作成に、**多くの時間を費やし**、児童が自分の思いや考えを**伝える時間を、十分に確保**することができなかった。

ICT
活用

タブレット型端末で、**資料を整理して、保存・編集**

短時間でまとめの成果物を作成することができる。

- ★たくさんの写真等の資料を**短時間で閲覧**することができる。
- ★選択した資料を活用して**簡単に編集・作成・印刷**することができる。
- ★時間を短縮できたことで、**伝える時間を確保**できる。



5/5時
目標

「お悩み解決大作戦」
意識を切り替えるための対応の仕方を考えて行動する自分を振り返り、**学習の達成感を味わう**ことができる。

これまでの学習を通して印象深い写真を、児童が選択して、まとめの成果物を作成します。

導入

展

開

終末

めあて
思い出ベスト3を選んで、思い出ページを完成させよう。



タブレット型端末を活用して、まとめの成果物を作成するという学習の見通しをもつ。



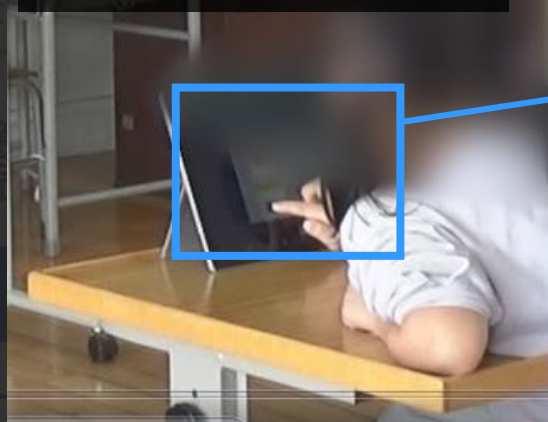
まとめの成果物を作成して、学習を振り返る。

Click here! 

まとめの成果物を作成して、学習を振り返る。

たくさんの写真の中から、
印象深い写真を選択する。

ドラッグアンドドロップ



簡単に作成

成果物を基に、思いや考えを
自分のペースで説明する。



選択した写真を、成果物のフォー
マットに挿入する。

タブレット型端末に、印象深い写真
を提示しながら、教師に説明する。

単元のまとめでは、これまでの学習を振り返ることで、学習の定着を図ったり、達成感や成就感を味わったりすることが大切です。そのためには、自分の思いや考えを伝える時間を、十分に確保する必要があります。そこで、タブレット型端末を活用することで、これまで、成果物の作成に費やしていた多くの時間を短縮し、自分の思いや考えを伝えるための時間を確保することができます。

ICT
活用の
Point



ができる。
閲覧することができる。
作成・印刷することが
時間を確保できる。



写真を、児童が選択して、

終末



小学校 特別支援
自立活動

Click!



MAIN MENU

これまで

注意のそれや聞いている途中での行動が見られる。聞くときに注目すべき箇所が分からないことにより、聞いたことを基にした行動に苦手さがある。

ICT
活用

メモ機能
文字起こし機能
録音機能
で苦手を補う

- ★ ICT機能の自己選択・自己決定を通して意欲が高まる。
- ★ 操作を通して聞き始めと聞き終わりが明確に分かる。
- ★ 聞いたことの中から必要な情報を繰り返しつかむことができる。



5/7時
目標

「聞いて 見付けて 名探偵」
ICT機能を自己選択・自己決定して聞き、聞いたことを基に、行動に必要な情報を見付けたり、行動したりすることができる。

聞いたことから注目すべき箇所（色や形、数などの情報）を見付け、謎解きに挑みます。そのために、ICTを活用して、聞いたことを繰り返し確認可能な情報にします。

導入

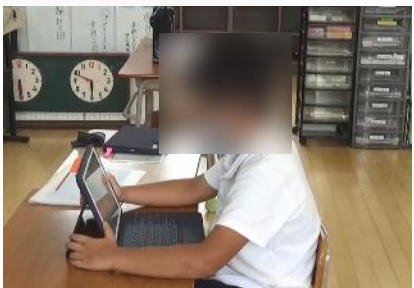
展

開

終末

めあて

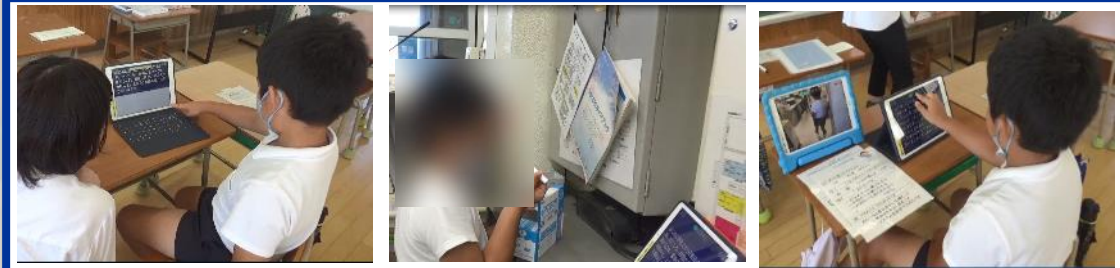
聞いて、（謎解き）アイテムを選んで謎を解決しよう。



ICTを活用した試しの謎解きを行い、意欲をもつ



自分で決めた機能を活用して、聞いた通りのブロックを選んで並べる **Click here!**

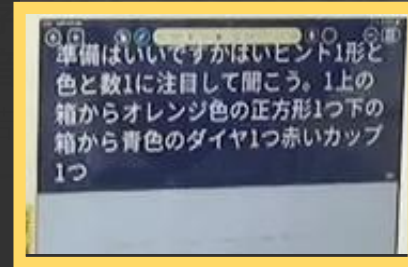
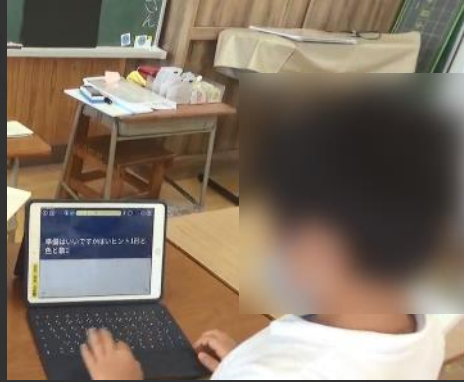


教室で聞き、離れた場所に移動して行動する。ICTがあることで、いつでもどこでも必要な情報が分かり、安心して最後まで活動することができる。

Click here!

聞いて（色、形、数、位置に注目）行動する

- ・メモ機能
- ・録音機能
- ・文字起こし機能



①自己選択・自己決定

使用するICT機能の自己選択・自己決定を行います。

②聞く

選択したICT機能を自分で操作して、問題文を聞きます。

③つかむ

聞いたことから注目すべき箇所（形や色、位置など）をつかみます。

④行動する

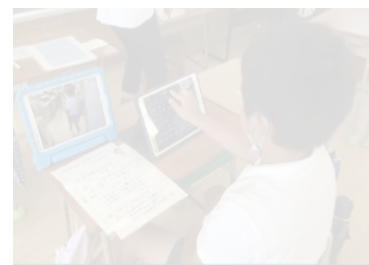
聞いた通りの色や形のブロックを選んで、順番に並べると、ヒントが分かります。

聞いたことが何度も確認可能となり、途中で分からなくなっても大丈夫。

文字起こし機能を使用して聞くことで、聞いたことが文字として可視化されます。視覚的情報の解釈を得意とする児童にとっては、行動に必要な情報（注目する箇所）が見て分かることで、主体的に行動することができます。ICTの活用を、①自己選択・自己決定、②聞く、③つかむ、④行動する、⑤確かめるの1サイクルで行うと、様々な授業でも活用できます。

※本活動は④まで行い、次の活動に進みました。
⑤まで行った活動は次のページにあります。

終末



小学校 特別支援
自立活動

聞いて（色、形、数、位置、誰に注目）行動しながら、自分で確認する。

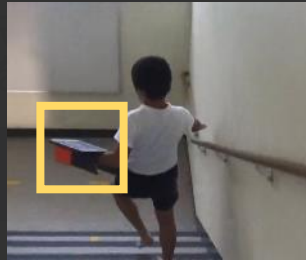
①自己選択・自己決定

- ・メモ機能
- ・録音機能
- ・文字起こし機能

移動

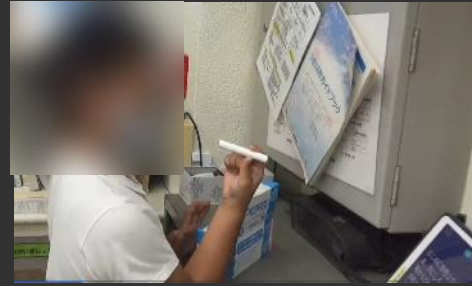
②聞く

③つかむ



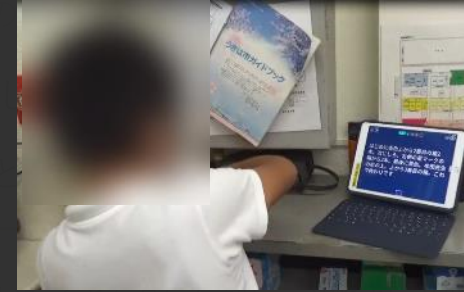
④行動する

教室で聞いたことを基に行動します。途中で必要な情報が分からなくなることもあります。



⑤確かめる

画面を見て、必要な情報を確かめたり、行動を修正したりすることができます。



行動が合っているかどうかを自分で確認できるので、成功するまで何度でも修正が可能となる。

聞いたことがいつでも確認可能となり、行動までの時間が延びたり、場所が離れたりしても大丈夫。

聞くときに注意がそれたり、注目する箇所が分からなかったりしたときに、最後まで行動できず、途中で投げ出してしまおうことがなかったでしょうか。ICTを活用することにより、聞いたことが何度も確認可能となり、必要な情報をいつでも確かめることができます。成功する嬉しさが、次の行動への意欲につながっていきます。

ICT
活用の
Point



実践

は市立御幸小学校
後藤 美紀

意欲が高まる。

確に分かる。

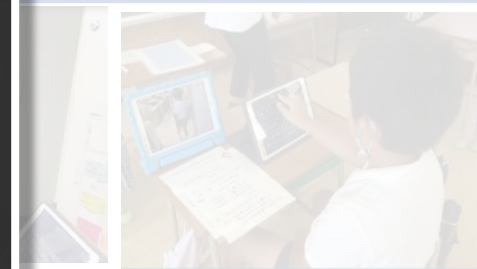
つかむことができる。



ントを獲得していきます。その

返し確認可能な情報にします。

終末



る。ICTがあ



小学校 特別支援

自立活動

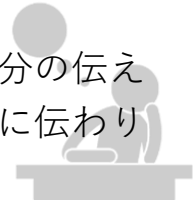


MAIN MENU

円滑にやり取りするための留意点を動画で伝えよう

授業実践
福岡県立久留米聴覚
特別支援学校
指導教諭 中島裕子

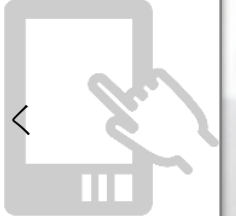
これまで
音声のみでは自分の伝えたいことが十分に伝わりにくい。



ICT
活用

伝えたいことをカメラ機能で動画撮影

- ★ 簡単な操作で動画を編集することができる。
- ★ 様々な手段（手話、絵、文字等）を用いて分かりやすく伝えることができる。



2/2
時
目標

自分のことを伝えよう
居住地校の交流をしている友達に、手話や指文字、文字などを使って、自分の伝えたいことを伝えることができる。

手話等を用いた自己紹介用の動画に、絵や文字を入れてプレゼンテーションを作っています。

前時の想起

居住地校の友達に自身の聞こえ方やコミュニケーション方法を伝える動画の作成

振り返り

前時に学習した、自身の聞こえ方等について確認する。



手話等で自身の聞こえ方等を伝える動画を撮る [Click here!](#)



撮影した動画を編集する [Click here!](#)

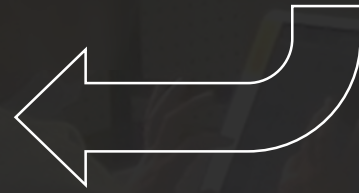
編集した動画を見直し、居住地校の友達に自分の聞こえ方等が伝わるかを考える。

手話等で自身の聞こえ方等を伝える動画を撮る



手話等で友達に伝えたい自身のコミュニケーション方法（手話、身振り、絵等）の説明をしています。

すぐに撮影した動画を見直し、自分の伝えたいことが友達に伝わるのかを考えています。



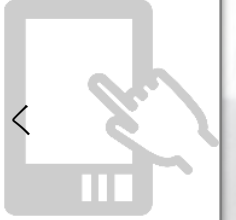
より伝わりやすくするために、手話に合わせて絵カードを提示し説明しています。

ICT活用のPoint



ICTを活用することで、音声だけでなく、様々な手段（手話、絵、文字等）を用いた動画によって自身の伝えたいことを伝えることができます。

授業実践
福岡県立久留米聴覚
特別支援学校
指導教諭 中島裕子



ことができる。

を用いて分かりやすく

自己紹介用の動画に、絵や文字を入れて
作っています。

振り返り

編集した動画を見直し、
居住地校の友達に自分の
聞こえ方等が伝わるかを
考える。

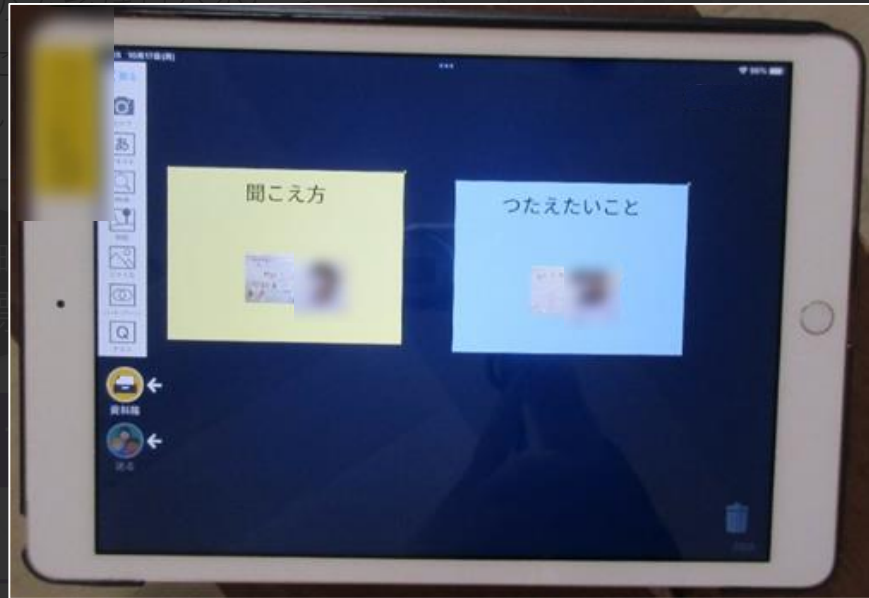
特別支援学校 (聴) 小学部

自立活動

Click!

◀ MAIN MENU

撮影した動画を編集する



ロイロノート・スクールを使って、児童が伝えたいことをカードで整理して考えています。

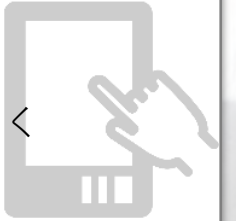
カードに動画や文字、絵を加えて、友達が分かりやすいように編集しています。

ロイロノート・スクールを活用することで、自分の伝えたいことをカードで整理し、カードに動画や文字、絵を加えて編集すると、簡単にプレゼンテーションを作成することができます。

ICT
活用の
Point



授業実践
福岡県立久留米聴覚
特別支援学校
指導教諭 中島裕子



できる。

て分かりやすく

紹介用の動画に、絵や文字を入れて作っています。

振り返り

編集した動画を見直し、居住地校の友達に自分の聞こえ方等が伝わるかを考える。

特別支援学校 (聴) 小学部

自立活動

Click!

MAIN MENU

自分の話し方を動画で振り返ろう

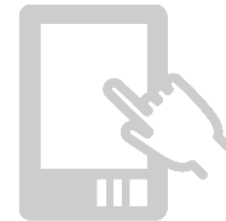
これまで

自分の伝えたいことが相手に十分に伝わっていないことに気が付きにくい。

ICT
活用

やり取りの様子をカメラ機能で**動画撮影**

- ★やり取りの様子を視覚化することができる。
- ★何度も繰り返し確認し、客観的に振り返ることができる。



2/3時
目標

自分のことを知ろう

自分の話し方を振り返り、できていることや工夫する必要があることに気付くことができる。

修学旅行の思い出を話した動画を見ながら自己チェックリストに沿って、自分の話し方を確認しています。

確認

話したいことをやり取りする

話し方を振り返る

まとめ

前時で学習した、「自分のこと」の中から、話し方を振り返ることを確認する。

やり取りの様子は、

- ・児童の表情と手話表現が見える
- ・教師の動きが分かる

位置から撮影する。



自己チェックリストに沿って、
動画で自分の話し方を振り返る

Click here!

児童が、自分の話し方で何ができていて、何を工夫したら良いか、気付いたことをまとめる。

確認

話したいことをやり取りする

話し方を振り返る

まとめ

自己チェックリストに沿って、 動画で自分の話し方を振り返る



自己チェックリスト	
質問	チェック
①自分の言いたいことを、相手を見て話している。	
②質問されたことに答えている。	
③話が伝わらないときに、途中でやめず、最後まで話をつけている。	
④自分が話したことは伝わっている。	
⑤何度も質問されたら、言い方や伝える方法をかえて答えている。	

◎:できている ○:ときどきできている △:がんばろう(していない)

自己チェックリストを基に動画を視聴する。

ICTを活用することで、やり取りの様子を視覚化することができます。また、確認したい場面を、繰り返し振り返ることができます。さらに、動画を視聴する際には、自己チェックリストを提示することで振り返る観点が明確になり、自分の話し方を客観的に確かめることができます。

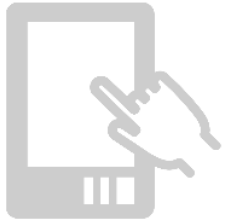


教師が絵や文字に書いて、話の内容を確認した様子を振り返る。出を話した動画に沿って、自分の話し方を確認

教師からの質問や確認を受けて、児童が表現を変えて伝え直したことを振り返る。

実践

県立直方特別支援学校
岡野 梓



きる。
り
返る

を見ながら自己チェックリスト
しています。

まとめ

児童が、自分の話し方で
できていて、何を工
したら良いか、気付い
ことをまとめる

特別支援学校(聴) 小学部

自立活動

Click!

MAIN MENU

ICTを活用して、相手にどう伝えるかを決めよう

これまで

教師などに尋ねるとき、
どう伝えるか分からない
ときがある。

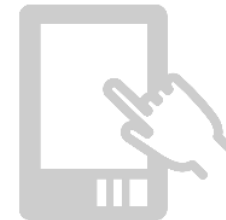


ICT 活用

場に応じた伝え方
を振り返る質問を
焦点化、視覚化し
て提示

場に応じた伝え方を決めることができる。

- ★ 質問が**視覚的に分かりやすい**。
- ★ **自分で**伝え方を決めることができる。



4/4時
目標

手掛かりを集めて、持ち主を見付けよう
**タブレット型端末のFinger Board for Studentsを操作して、担任など
にどう伝えるかを自分で決めて、やり取りをすることができる。**


どう伝えるかを自分で決めて、担任などとやり取りをして、
ペンの持ち主を探します。

めあて

前時を振り返り、本
時のめあてを知る。

どう伝えるかを決める



質問に答えて、**Click here!** 

ペンの持ち主を探す

自分で決めた伝え方でやり取り
をして、集めた手掛かりから分
かった持ち主にペンを渡す。
→(例)「今、話せるか」を聞いて
から話す など

振り返り

活動を振り返り、頑張っ
た点などをワークシート
に書く。

めあて

どう伝えるかを定める

ペンの持ち主を探す

振り返り

質問に答えて、どう伝えるかを定める

質問



はい

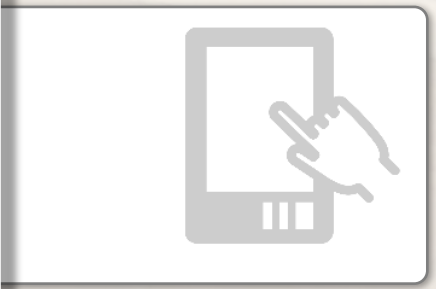
いいえ



伝える方法を選ぶ



実践
県立川崎特別支援学校
脇岡 文



担任などとやり取りをして、

振り返り

活動を振り返り、頑張った点などをワークシートに書く。

前時を振り返り、本時のめあてを知る。

相手にどう伝えるかを定める場合、①場や状況を的確に把握すること、②場に応じた伝え方を定めることの2つを同時に行う必要があるため、生徒の実態によっては、教師の支援が必要です。しかし、Finger Board for Studentsというアプリケーションを活用すれば、質問の答えを順に考えていくだけで、場に応じた伝え方を決定し、相手にどう伝えるかを自分で決めることができます。



特別支援学校(知)中学部
自立活動

Click!

MAIN MENU

働くことを想定した場面でICTを活用しよう

これまで

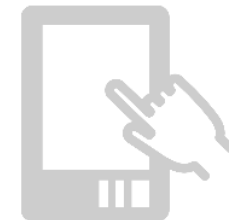
見えにくさがあり、手元の細かいものや遠くのものを見るのが難しい。

ICT
活用

- ・カメラ機能を使って見る
- ・プレゼンテーションアプリを使って自身の見え方や必要な支援を他者に伝える

★生徒自身で見やすいように調整して見ることができる。

★自身の考えを整理しやすく、他者にも分かりやすく伝えることができる。



「働くことを想定してタブレットを活用しよう」

全 9 時

- ・タブレット型端末を活用して見ながら、正確に情報を収集することができる。
- ・自身の見え方や必要な支援を整理し、他者に伝えることができる。

第一次（知る）


第二次（試す）

第三次（生かす）



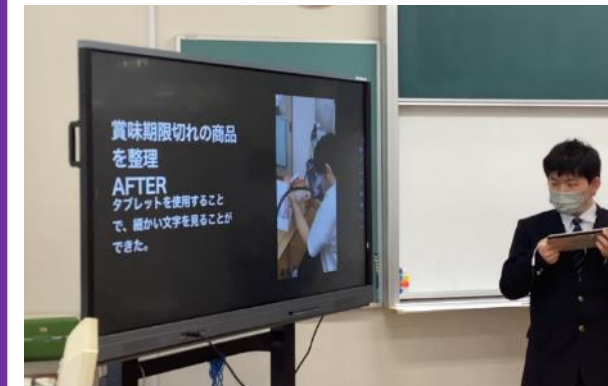
働く場面を想定した作業の動画を見て、自身の課題に気付く



見ながら正確に情報を収集する
Click here! 



手元を拡大し、見ながら作業に取り組む



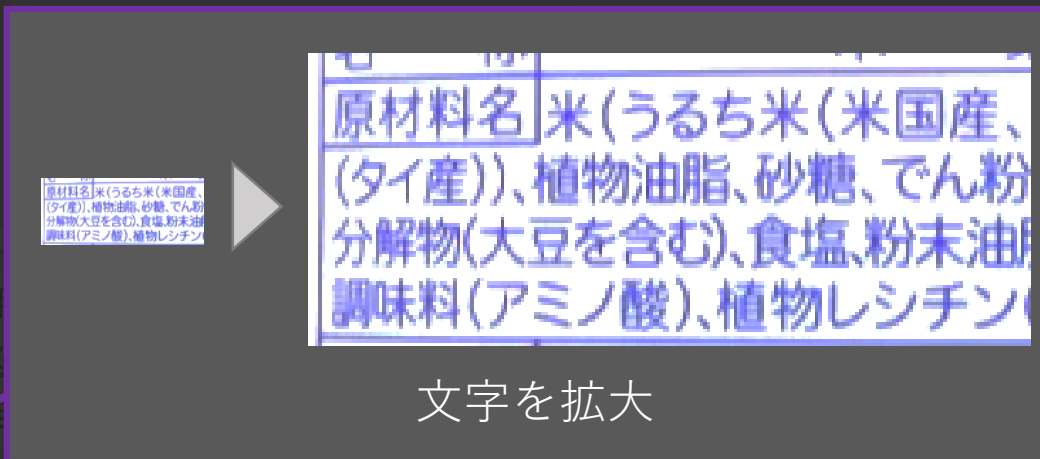
整理したことを他者に伝える
Click here! 

正確に情報を収集する

カメラ機能の活用



細かくて見えにくい表示を自身が見やすい大きさに拡大して見る。



文字を拡大



アームやスタンド等を活用すると、両手を使うことができ、作業等に取り組みやすくなります。

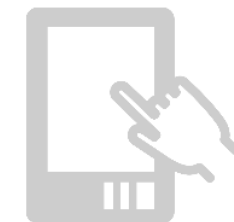
※次ページにアームに固定して文字を書く様子を掲載

タブレット型端末のカメラ機能を用いることで、細かい表示等を自身が見やすい大きさに拡大して見ることができます。また、写真を撮って画像として保存すると、見たいときにいつでも拡大縮小して見ることができます。



ICT
活用の
Point

調整して



、他者にも
ができる。



特別支援学校(視)高等部

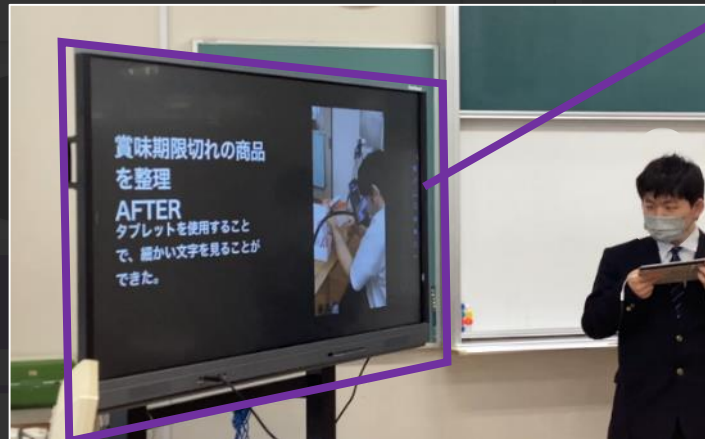
自立活動

Click!

here!

整理したことを他者に伝える

プレゼンテーション アプリの活用



自身の作業の様子を動画で確認し、できるようになったことを整理して発表する。

自身の作業の様子を動画で振り返り、整理することで、「できなかった」ことが「できる」ようになったと実感することができます。そして、「自分一人でも工夫すればできること」や「援助があればできること」等を具体的に他者に伝えることができます。

賞味期限切れの商品 を記録表に記入

AFTER
タブレットを使用して、細かい文字を書くことができた。

できるようになったことを記述



作業を行った際の動画を挿入



調整して



、他者にも
とができる。



特別支援学校(視)高等部
自立活動

Click! here!

ICTを使って自然災害について考えよう

これまで

講義形式の授業や通常の地図では、災害や自然条件等の**イメージ**がしにくい。

ICT活用

タブレット型端末を使って**災害や自然条件**について考える。

- ★グーグルマップを使うことで、山地や平野などの地形や自然条件が捉えやすい。
- ★「グーグルマップと津波被害浸水マップ」などのように関連する画像を並べて見ることで比較しやすい。
- ★ハザードマップなどで自分の暮らすまちの災害リスクや自然条件を確かめやすい。

目標

我が国の国土の自然環境と国民生活

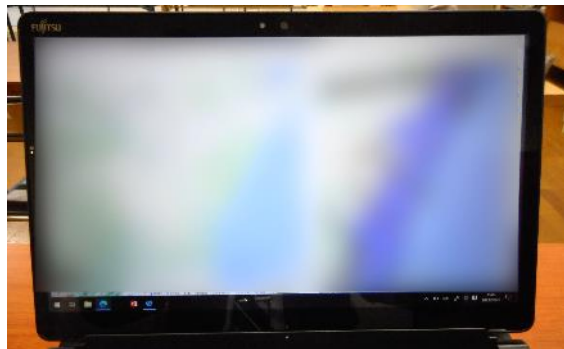
- ・過去の震災の被害の状況をグーグルマップ等の資料から読み取ることができる。
- ・災害と自然条件との関連について、自分が考えたことを説明したり、話し合ったりすることができる。

導入

「東日本大震災」

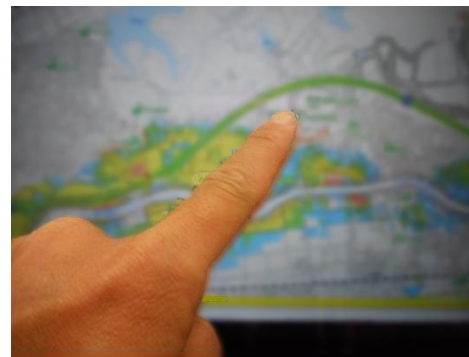
- ・災害の規模や発生日時や場所などの基本的な情報を知る。
- ・国民生活にどのような影響があったかを知る。

展開



Click here! 

タブレット型端末で災害と自然条件との関連を読み取ったり、比較したりする



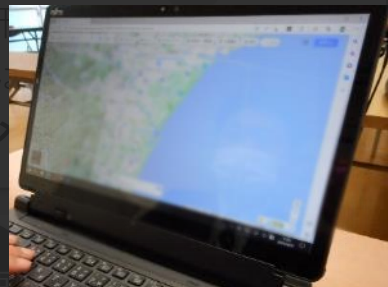
Click here! 

タブレット型端末で自分の暮らすまちの災害リスクを確かめる

まとめ

分かったことや考えたことを交流する。

タブレット型端末で災害と自然条件との関連を読み取ったり、比較したりする



グーグルマップ



仙台平野は海のそばまで広がってるから津波の被害が内陸まで拡大したんだね。



すごい被害だね。もしものときのために、災害に対する備えは必要だね。自分の暮らすまちはどうだろう？



東日本大震災津波浸水マップ



津波の浸水エリアは、川沿いに広がっているんだね・・・。



両方を画面上に並べて比較

タブレット型端末を使って、地形図を見たり、同じ地域の津波浸水マップを見たりして比較し、災害と自然条件との関連に気付いたり、視覚的に災害の規模をイメージできるようにする。

ICT
活用の
Point



実践
岡山県立特別支援学校
北九州高等学園」
教諭 菊地 雄一

地形や自然条件が捉えやすい。
のように関連する画像を並べて

スクリーンや自然条件を確かめやすい。

ができる。

まとめ

Click here!

分かったことや考えたことを交流する。

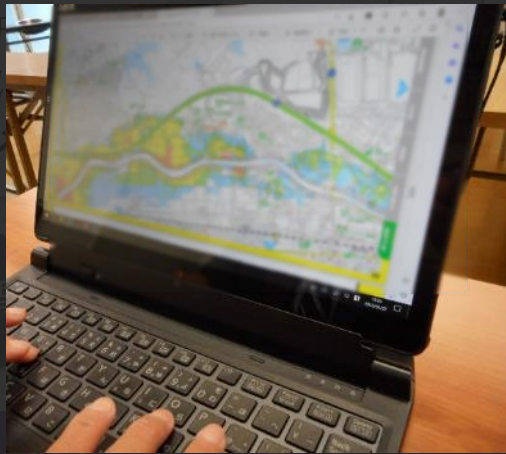
特別支援学校(知)高等部

社会科

Click!

MAIN MENU

タブレット型端末で自分の暮らすまちの災害リスクを確かめる



各自治体が作成した
ハザードマップ



ほんとだ。
私のまちでは、どこに
避難したらいいかな？



僕の暮らすまちが洪水になったら、
危険な場所は、あそこか・・・。
家も安全じゃないな・・・。



もしものときは、
まちの体育館に
避難したらいいね。

タブレット型端末を使って、ハザードマップを確認し、自然災害への対処や備えをするとともに、地域についての理解を深める。

ICT
活用の
Point



実践
岡山県立特別支援学校
北九州高等学園」
教諭 菊地 雄一

地形や自然条件が捉えやすい。
のように関連する画像を並べて
リスクや自然条件を確かめやすい。

まとめ

Click here!

分かったこと
や考えたこと
を交流する。

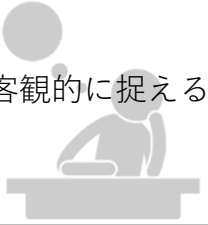
特別支援学校(知)高等部
社会科

Click! MAIN MENU

動画で自身の行動を振り返ろう

これまで

自分自身の行動を客観的に捉えることが難しい。



ICT
活用

自身の行動を撮影した動画を見て、振り返る。

★ ロールプレイにおける自身の行動を、動画を見て振り返り、できたことや課題を理解することができる。



1 / 4 時
目標

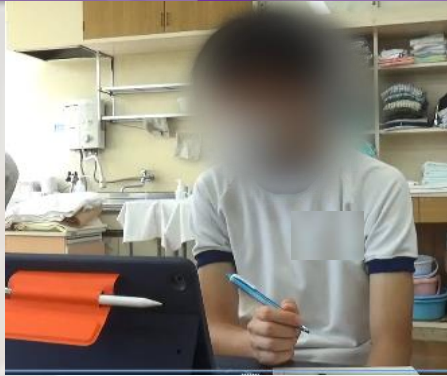
「相手の気持ちを考えて断ろう」

- ・自身の断り方について課題を理解し、改善するための目標を設定することができる。
- ・目標を意識して行動し、**自身のできたことや課題を振り返る**ことができる。
- ・振り返りを受けて、更に良くなる改善策を考えることができる。

導入（自身の課題を理解する）

展開（ロールプレイの中で、目標を意識して行動し、自身の行動を振り返る）

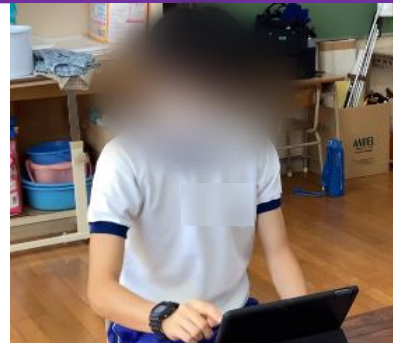
まとめ（次の学習に生かす）



自身が他者からの誘いを断る様子の動画を見て、自身の断り方についての課題を理解する。

自身の断り方についての課題を改善するために、目標を設定する。

ロールプレイの中で、目標を意識して行動する。



目標が達成できたか**動画で自身の行動を振り返る。**

自己評価をし、できたことや課題を理解する。

Click here!



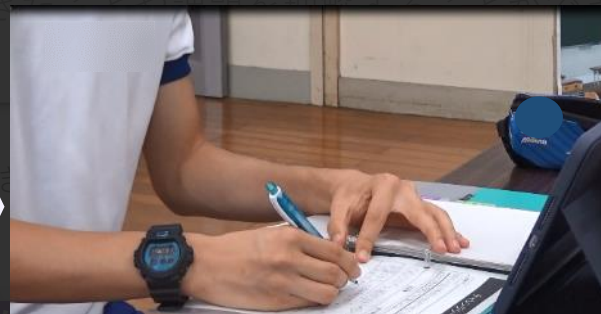
新たな課題を見だし、更に良くなる改善策を考える。

導入（自身の課題を
理解する）

展開（ロールプレイの中で、目標を意識して
行動し、自身の行動を振り返る）

まとめ（次の学習に
生かす）

動画で自身の行動を振り返る



ロールプレイの中で、
自身の行動を撮影した
動画を再生する。

目標が達成できたか自身の
行動を振り返る。

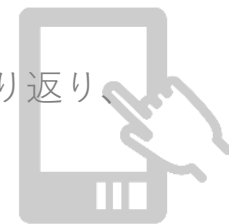
自己評価（◎○△）をしな
がら、できたことや課題を
理解する。

- ・自分自身の行動を客観的に捉えることが難しい生徒が、自身の行動を視覚化して提示することで、できたことや課題を理解することができます。
- ・撮影した動画を記録として保存することで、前時の自身の行動と比較し、できるようになったことを実感することができます。

ICT
活用の
Point



実践
県立小郡特別支援学校
平井 由美恵



動画を見て振り返り
る。

（次の学習に生かす）

新たな課題を見だし、
更に良くなる改善策を考
える。

特別支援学校(知) 高等部

自立活動

MAIN MENU

タブレット型端末で伝えよう

これまで

相手に伝えることができる要求内容が**限られていて**、相手に分かりやすく要求を伝える手段が**十分に確立されていない**。

ICT
活用

タブレット型端末に提示された写真やイラストに**触る**

新たな要求手段を獲得し、要求内容を広げることができる。

★相手に**分かりやすく**要求を伝えることができる。

★**たくさんの**要求を伝えることができる。



8 / 9 時
目標

タブレット型端末の基本的操作を身に付けて、様々な人に遊びの要求を伝えることができる。

触って離すというタップ操作を身に付け、遊びの要求を授業者以外の教師にも伝えます。


準備



ホームボタンを押して自分で画面のロックを解除しています。

アプリで遊ぶ



タップ操作を身に付ける **Click here!** 

要求を伝える

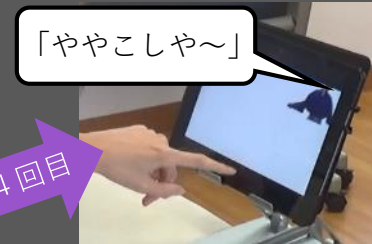


遊びの要求を授業者以外の教師に伝える **Click here!** 

タップ操作を身に付ける

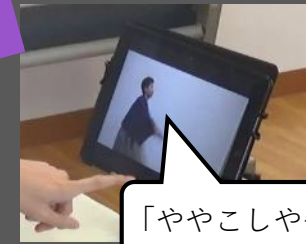
8 / 9 時

タップ② (触って離す)



1~4回目

最後



生徒の好きな人物を授業者が模倣した写真で、この写真に触って離すことで「ややこしや」という声が出て、写真が上下左右に動く。これを4回繰り返すと、最後に動画が再生される。

タップ①
(触る)

スワイプ

要求を伝えるために必要な基本的操作を細かく3つの段階に分け、それぞれの操作や生徒の実態に合わせて、教材の工夫をしたり、環境の調整をしたりしました。

タブレット型端末を幼児児童生徒が主体的に使用するためには、使用する環境を整えることが大切です。使用する幼児児童生徒によって見やすい位置、触りやすい位置が違うので細かく調整する必要があります。その際、固定具としてスタンドやアームなどを使うことも有効です。

ICT
活用の
Point



実践

県立柳河特別支援学校
佐藤 信介

ことができる。

できる。



を身に付け、遊びの要求を
ます。

える

特別支援学校(肢)高等部

自立活動



Click!



MAIN MENU

遊びの要求を授業者以外の教師に伝える

① 遊びを選ぶ



生徒の興味・関心の高い遊びから選ぶ。

- ・「ぺらぺら」（本をめくる）
- ・「おもちゃ」（音の出る絵本を鳴らす）
- ・「どうが」（動画を見る）



タップするとイラストが大きくなり、「おもちゃ」という音声再生される。その後、画面が切り替わる。

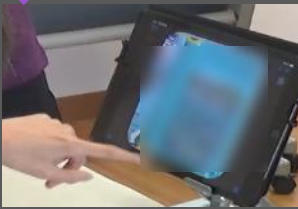
② 遊ぶものを選ぶ



スワイプして画面を切り替えながら6冊の絵本から1冊を選ぶ。



タップすると写真が大きくなり、「おもちゃをください」という音声再生される。その後、画面が切り替わる。



③ 遊び方を選ぶ



- ・「ひとりで」（一人で遊ぶ）
- ・「してもら」（手拍子をしてもらう）



タップするとイラストが大きくなり、「一人で遊みます」という音声再生される。

意思表示手段としてのタブレット型端末の利点には、携帯が簡便で格納できる情報量が多いこと、幼児児童生徒が興味・関心をもちやすいことなどがあります。また、音声を再生させることでVOCA（Voice Output Communication Aid）として使うことができます。使い方を工夫することで、主体的にたくさんの要求を伝えることができます。

ICT
活用の
Point



ICTを活用した授業評価・分析

これまで

授業実践後の評価・改善が不十分。評価の集約や分析に時間がかかっていた。

ICT
活用

Google Formsで
授業評価を入力・分析

授業評価をすぐに把握、分析することができる。

- ★ 担当者が、**授業者・参観者の授業評価を把握**することができる。
- ★ 入力された評価を**すぐにデータ化**することができる。



目的 スモールステップでのCheck・Actionを効果的・効率的に行うためにGoogle Formsを活用し、授業改善の推進を図る。

授業公開・参観
授業評価

授業評価の入力・データ化・分析

改善策の協議

授業評価シートを活用して
他者評価・自己評価を行う

担任：Google Formsを活用して、評価を入力する
主幹教諭、校内研修担当者：入力された評価を分析する



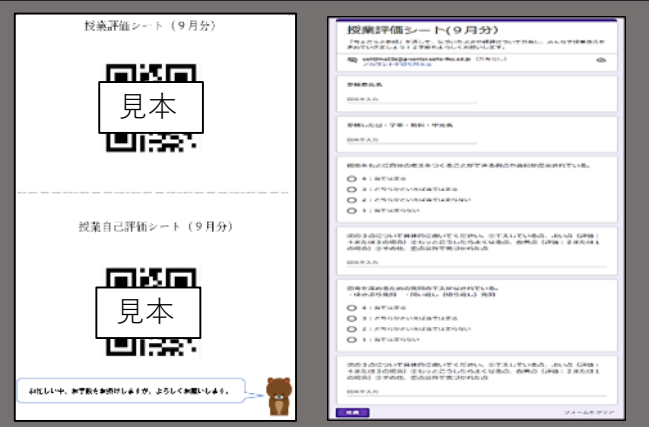
教科部会で改善策を考える

Click here!

担任：Google Formsを活用して、評価を入力する 主幹教諭、校内研修担当者：入力された評価を分析する

QRコードを読み込み、評価を入力する

全体・教科部会・個人ごとにデータ化し分析する



「回答」をクリックすると、
授業評価の集計を見ることが
できます。



「スプレッド
シートで表示」
をクリックする
と、個別（参観
者・授業者）の
評価を見ることが
できます。

Google Formsを活用することで、
授業評価のデータを1つずつ入力する
必要がなく、**集約や集計を簡単に行う**
ことができます。また、回答結果が
グラフとして表示されたり、スプレッド
シートに個別の評価が表示されたりする
ので、**すぐに分析ができ、変容を捉え
たり、よさや課題を整理したり**する
ことができます。

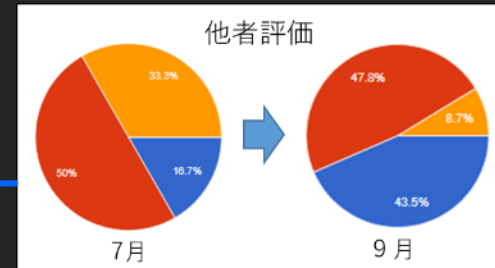
ICT
活用の
Point



参観者の氏名	評価項目	評価内容
山田 太郎	授業の進め方	よく進められていました。
山田 太郎	先生の話し方	わかりやすく話していました。
山田 太郎	授業の雰囲気	楽しく授業を受けていました。
山田 太郎	先生の指導	丁寧な指導が印象的でした。
山田 太郎	授業のまとめ	まとめが簡潔で良かったです。
山田 太郎	先生の笑顔	先生の笑顔が印象的でした。
山田 太郎	授業の準備	準備が整っていました。
山田 太郎	先生の声かけ	声かけが適切でした。
山田 太郎	授業の進捗	進捗がスムーズでした。
山田 太郎	先生の質問	質問が適切でした。
山田 太郎	授業の振り返り	振り返りが丁寧でした。
山田 太郎	先生の声かけ	声かけが適切でした。
山田 太郎	授業の進捗	進捗がスムーズでした。
山田 太郎	先生の質問	質問が適切でした。
山田 太郎	授業の振り返り	振り返りが丁寧でした。

データを比較することによって、
変容を捉えることができます。

各担任の手立てのよさや課題
を把握し、よさの共有や指導
に生かすことができます。



る。
ることができる。



業改善の推進を図る。

改善策の協議



Click! 小学校
組織マネジメント

ICTを活用して職員研修会をしよう

これまで

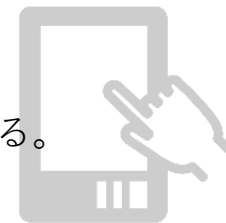
教職員のニーズに応じた研修会になっているかを判断することが難しい。

ICT
活 用

Google Formsで
アンケート集約
研修資料の共有

教職員のニーズをすぐに分析し、職員研修会で活用することができる。

- ★すぐに教職員のニーズを把握することができる。
- ★ペーパーレスで、働き方改革が推進する。



目的 教職員のニーズを把握し、職員研修会を実施することができる。

教職員のニーズをつかむ

職員研修会の実施

授業実践



見本



職員研修会で決定したことを基に
目指す子供の姿に向かって授業実践
を行う

アンケートを実施する

アンケートを分析する

職員研修会を実施する

Click here!

Google Formsでアンケート

QRコードを読み込み アンケートに回答する



アンケートを印刷する時間を省略することができます。

職員研修会でペーパーレス クラウドから研修資料を開く



見たい部分を拡大するなど自分が知りたい情報を得ることができます。



大量の資料をデータ化することで、資料をコンパクトにすることができます。



データ化し分析する

アンケートの結果がすぐに表示されます。集計する時間が省略できます。

全体・個人で結果を見ることができ、どのような研修会を仕組むかを考えることができます。

Google Formsを活用することで、**実態把握が素早くできる**ので、教職員のニーズに応じた職員研修会の実施ができます。アンケートや資料を**印刷する時間を省略**できるので、**働き方改革**にもつながります。

ICT
活用の
Point



職員研修会で活用

することができ

とができる。

児童像にむけて授業実践

で決定したことを基に
の姿に向かって授業実践



Click!

小 学 校

マネジメント



MAIN MENU

教員の協働性を高める Googleスプレッドシートの活用

これまで

自分以外の教員が、どんな実践を行っているか**じっくり話す時間がない**。お互いの学級の子供の**実態を知る機会が少ない**。

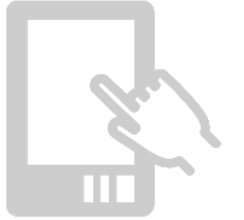
I C T
活 用

Googleスプレッドシートで
いつでもどこでも
みんなと情報共有

教員同士の交流が自然と生まれる。

★各学年や学級**の取組の様子が見える化**

★情報が行き来することで、議論の土台ができる



効果

それぞれの教員がもっている教育技術から子供に関する情報に至るまで、様々な情報をみんなで共有することによって、子供に対する適切な支援や教員同士の学びにつながり、協働的な雰囲気醸成される。

シートの作成

活用場面

効果


Point!

みんなで意見を出し合って、共有したい事柄が何か決めよう。

何を目的に、どんな情報を共有するのかをはっきりさせる。

Click here! 



基本は「いつでも」
「どこでも」「だれでも」
Click here! 



「情報は宝」 情報共有で協働的な雰囲気に

Click here! 

共有したい情報は何か、検討する

※ 本事例では、生徒指導の取組を推進することを目的に活用しています。

共有シート		
めざす学校と子どものすがた		
〇〇な学校		
〇〇な子ども		
<input type="checkbox"/> 生徒指導の実践上の視点 <input type="checkbox"/> 自己啓発活動の推進 <input type="checkbox"/> 共感的な人間関係の育成 <input type="checkbox"/> 自己決定の場の提供 <input type="checkbox"/> 安全安心の風土の醸成		
A 生徒指導主任から		
B 養護教諭から		
C 各学級から		
1	1 気になる子どもの様子	
2	2 学級で起きていること	
3	3 トラブル対応	
4	4 気になる児童	
5	5 学級全体で起きていること	
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
D① 短期目標と取組		
短期目標	取組	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
D② 評価		
短期目標	取組	評価
1		
2		
3		
4		
5		
6		
D③ 次期短期目標		
短期目標	取組	

☆目指す学校や子供の姿について具体的に記載☆

- 気になる子供の様子や学級での困りごと
- トラブル対応について
- 気になる子供の欠席状況
- 学校全体で気になったこと など

「組織的に取組を進めよう」と思っている、日々の業務の忙しさから、少しずつベクトルがずれてきたり、学級だけで抱え込んでしまったりすることもあったのではないのでしょうか。

Googleスプレッドシートの活用で、**目指す姿を常に意識すること、みんなで短期的に取組の評価を行うこと、様々な情報を日常的に共有することが効率化されます。**

ICT活用のPoint



定期的に取り組の成果と課題を振り返るために、評価の欄を設けています。また、子供の実態を把握するための簡単な振り返りアンケートのURLを貼り付けています。



共有することによっ

果



小学校
校務運営

Click!



MAIN MENU

基本は「いつでも」「どこでも」「だれでも」

(例) 気になる子供や学級の様子を入力



「後で相談しようと思っていたら、忘れていた」なんてことも…
思ったときに、すぐ入力できるところがタブレットのいいところ

共有



交流が生まれ、支え合う雰囲気に

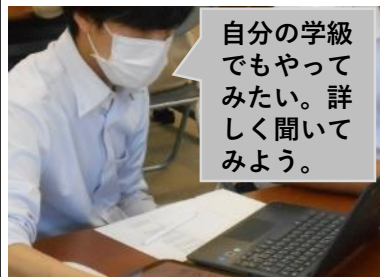
(例) 授業で効果的だった手立てを入力



学級での実践について、情報発信



互いの学びに



自分の学級でもやってみたい。詳しく聞いてみよう。

先生方の実践に関する情報が入ってくる。

(例) 取組の評価を集約

D② 評価	授業場面の取組						生活場面			
	自己決定の場を確実に設定する		明確な目的をもった交流活動を仕組む		ふりかえりの時間を確実に設定する		チャイム音を守る		進んであいさつする	
	教師の働きかけ	子どもの様子	教師の働きかけ	子どもの様子	教師の働きかけ	子どもの様子	教師の働きかけ	子どもの様子	教師の働きかけ	子どもの様子
1	🌸	🟡	🟡	🌸	🌸	🟡	🟡	🌸	🌸	🌸
2	🌸	🌸	🟡	🟡	🟡	🟡	🌸	🌸	🟡	🟡
3	🟡	🟡	🌸	🌸	🌸	🟡	🟡	🟡	🟡	🟡
4	🟡	🟡	🌸	🟡	🌸	🌸	🌸	🌸	🟡	🟡
5	🌸	🟡	🟡	🌸	🌸	🟡	🌸	🌸	🟡	🟡
6	🌸	🟡	🟡	🌸	🟡	🟡	🌸	🌸	🟡	🟡
西	変更	達成	達成	継続	継続	達成	達成	継続	継続	継続

取組を細かく振り返り、成果と課題を見える化

みんなで実践

「情報は宝」
ICTを活用すれば、情報発信と入手が気軽にできるようになります。同じ情報をもっていると、自然と交流が深まります。

ICT
活用の
Point



化
できる

共有することによっ

果



小 学 校

校 務 運 営

Click!



MAIN MENU

テキストマイニングツールを使用して 自由記述型のデータを集約しよう

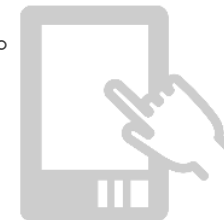
これまで
アンケート結果等、大量の
自由記述型のデータを集約し、
集団が持つ意識を把握し傾向を
掴むことが難しい。

ICT
活用

テキストマイニング
ツールを用いて共起
ネットワークを作成

大量のデータを処理し、短時間で全体像が把握できる。

- ★ 関連する語の繋がりを意識できる。
- ★ 関連度合を見ながら分析者の視点で語を整理し傾向を掴むことができる。



目的

自由記述型のデータがあるアンケートの集約・分析の際に、
集団が持つ意識を把握し、傾向を掴むためにテキストマイニングツールを活用する。
(使用ソフト：KH Coder3.Beta.03i (2020) 樋口耕一 <https://kncoder.net/>)

自由記述型のデータを準備する

テキストマイニングツールを用いて共起ネットワークを作成する

分析・まとめ

Excel等を用いて自由記述型のデータを準備する。

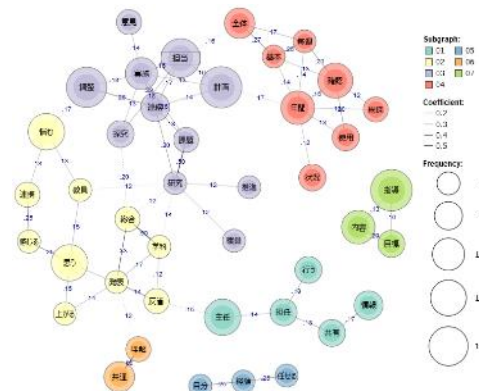
①

抽出語	出現回数
1 学校	40
2 物	38
3 生徒	23
4 先生	17
5 授業	17
6 勉強	17
7 先生	16
8 勉強	16
9 勉強	15
10 先生	15
11 先生	15
12 先生	15
13 先生	15
14 先生	15
15 先生	15
16 先生	15
17 先生	15
18 先生	15
19 先生	15
20 先生	15
21 先生	15
22 先生	15
23 先生	15
24 先生	15
25 先生	15

抽出語の出現
回数を把握

Click here!

②



共起ネットワークを作成し、全体像を把握

Click here!

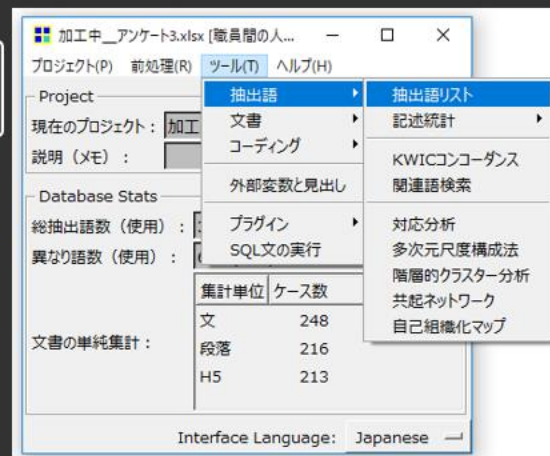
作成された共起ネットワークを見ながら分析し、対象集団の傾向を掴む。

自由記述型のデータから抽出語リストを作成し、出現回数を把握

前処理

Excel等を用いて自由記述型のデータを読み込み「テキストチェック」「前処理」を行います

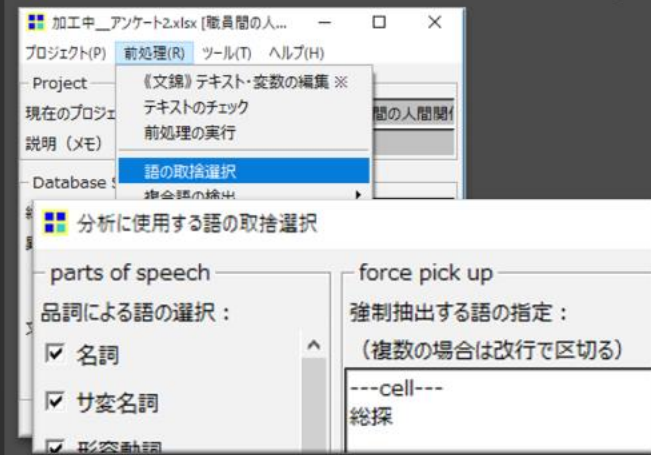
操作



#	抽出語	品詞/活用	頻度
1	学年	名詞	48
2	特に	副詞	48
3	生徒	名詞	23
4	計画	サ変名詞	17
5	指導	サ変名詞	17
6	進路	名詞	17
7	先生	名詞	16
8	調整	サ変名詞	16
9	会議	サ変名詞	15
10	担当	サ変名詞	15

単語の強制抽出OK

例えば、「総探」のように省略して記述されている単語などを意図的に抽出できます。



- ・一度に大量のテキストデータから単語を抽出することができます
- ・抽出語の品詞や頻度をみながら、文脈との関連を確認しつつ全体像が把握できます
- ・KH Coderはネット接続不要で利用でき、データ漏洩を防ぐこともできます

ICT
活用の
Point



高等学校
マネジメント

Click!

MAIN MENU

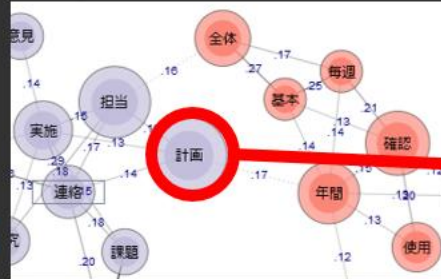
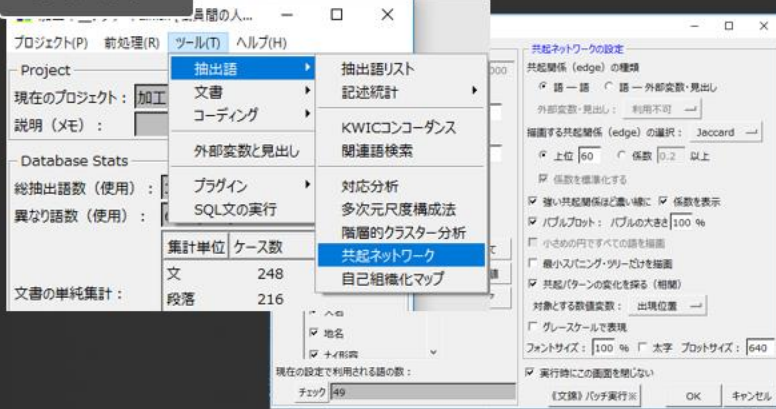
自由記述型のデータを準備する

テキストマイニングツールを用いて共起ネットワークを作成する

分析・まとめ

共起ネットワークを作成し、全体像を把握

操作



単語をクリックすると元の文脈も確認できます

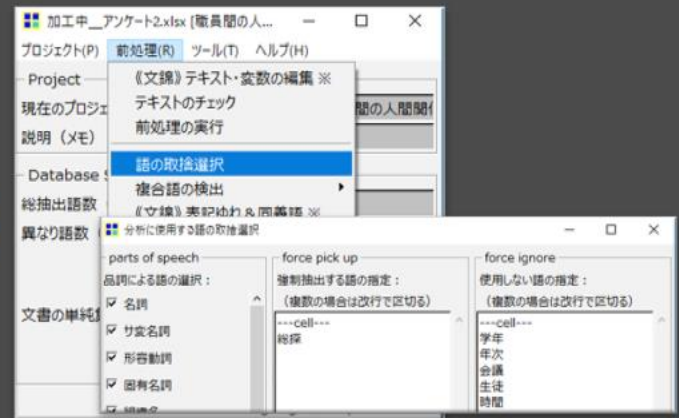
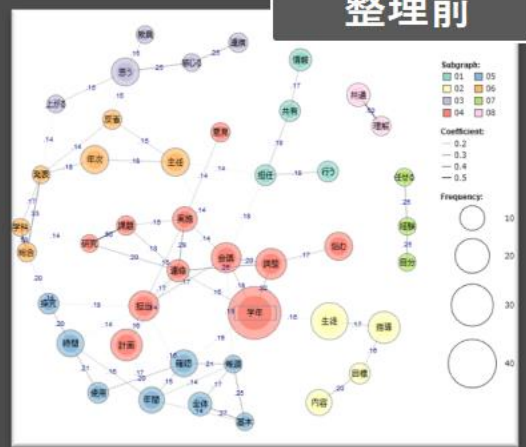
大量の自由記述型のデータを図化することで、関連度の高い単語を整理しながら、全体像を把握することができます

ICT活用のPoint

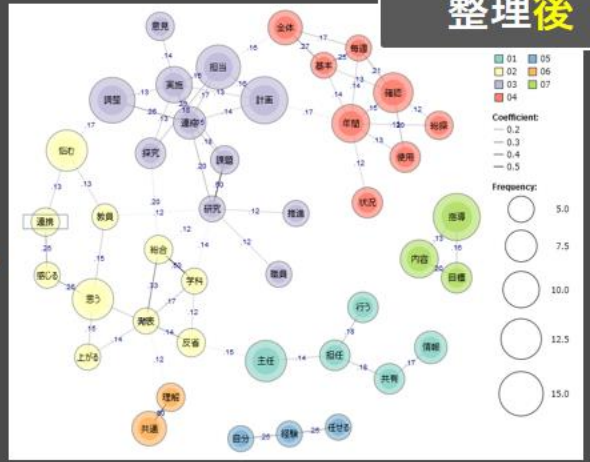
単語を整理できる

例えば、多くの文脈で記述されている単語などは様々な単語と繋がっており、全体像が把握しづらいことも考えられます。そのような場合、単語を整理して共起ネットワークを作成することができます。

整理前



整理後



Click!

高等学校
マネジメント

MAIN MENU

Google Chatで教員の交流を活性化

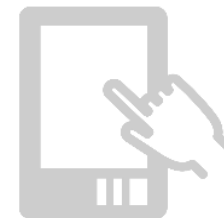
これまで
情報共有するために、関係
教員全員が集まる時間を確
保するのが難しい。

ICT
活用

Google Chatで
情報共有・意見交換

情報伝達に対する負担感を軽減できる。

- ★ 迅速な情報共有が可能になる。
- ★ 意見交換の過程を記録できる。



情報の投稿

レスポンス

A A先生 ○月○日 ○:○○

【今週のミッション】

本日投稿した教育相談通信 Vol.3では「スケーリング・クエスチョン」という質問技法について紹介しています。そこで今週のミッションはこちらです！

★誰かにスケーリング・クエスチョンで質問してみよう！★

教育相談通信 Vol.3の後半で、スケーリング・クエスチョンの応用例を紹介しています。

- ・体調を聞く
- ・達成度を聞く
- ・満足度を聞く

- (2) その結果、何が起きましたか？（相手の反応、自分の感情など）
- (3) この経験からあなたが得た学びや気づきは何ですか？
- (4) そこから見えてくる、あなたが大切にしたい価値観は何ですか？



Googleドライブ等から
PDFなどを添付する
ことができます。

投稿すると、チャットの
メンバーに通知され
ます。（要設定）

豊富なリアクションボタンで
素早いレスポンスが可能。

B B先生 ○月△日 △:△△

(1) スケーリング・クエスチョンという名前があることを今回初めて知りましたが、二者面談、三者面談の際、それまでの生活を自己評価させる目的でいつも使っていました。（これ、改行ってどうやったらいいのでしょうか？enter押したら投稿されてしまいます） (2) 自己評価が1点、2点など低い点数だった生徒でも、「その1点ってどういうところ？」などとさらに深掘りしながら、その生徒のプラスの側面を引き出すことにつながりやすかったです。



A A先生 ○月△日 ▽:▽▽

@B先生

「プラスの側面を引き出す」っていいですね😊
マイナスに目が向きがちなので心がけたいと思いました。

Google Chatと
Google Classroomは
どんなところが違うのか。

Click here!

Google Chatは
どんな場面で
活用できそうか。

Click here!

Google ClassroomとGoogle Chatの違い

※2023年3月現在の内容です。

活用実践
県立宗像高等学校
皆川 有希子



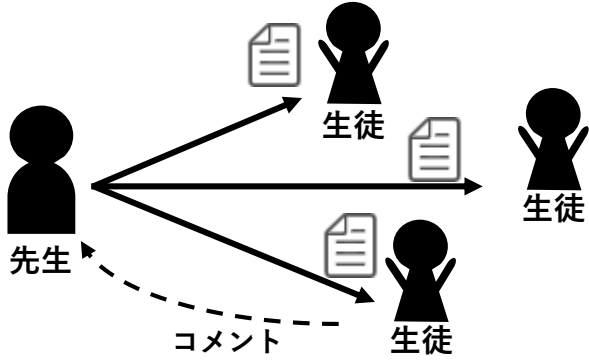
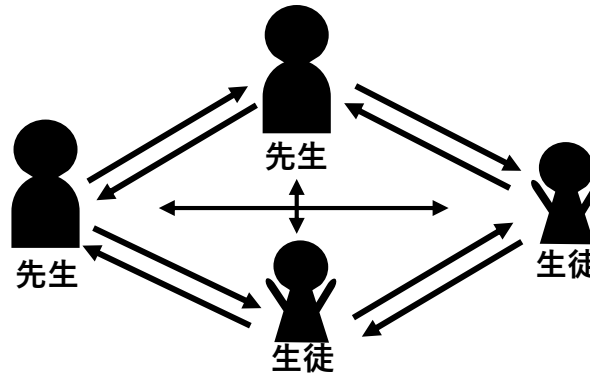
Google Chatと
Google Classroomは
どこが違うのか。
Click here!

Google Chatは
この場面で
できそうか。

高等学校
マネジメント

Click!

MAIN MENU

Google Classroom	Google Chat
ユーザーの役割を設定できる。 (教師or生徒)	管理者とメンバー
投稿できるのは 教師のみ 。 (生徒は投稿に対するコメントが可能)	双方向のディスカッション。
	
「課題」や「テスト」など目的に合わせて 投稿し、 評価や採点が可能 。 課題の提出管理に向いている。	話題ごとにスレッドを立てられる。 リアクションボタンで既読確認ができる。
メールによる通知	ポップアップや音による通知(要設定)

「どのように生徒(相手)と情報共有・意見交換をしたいのか」によってGoogle ClassroomとGoogle Chatを使い分けることがポイントです。なお、クラウド上でのやり取りになるため、情報漏洩防止の観点から、①どのような情報を取り扱うのか十分な配慮をすること、②組織用アカウントとプライベートアカウントを区別することが重要です。

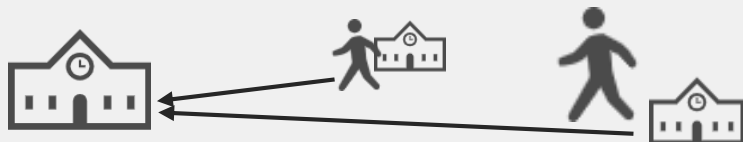


Google Chatをこんな場面で活用してみてもいい

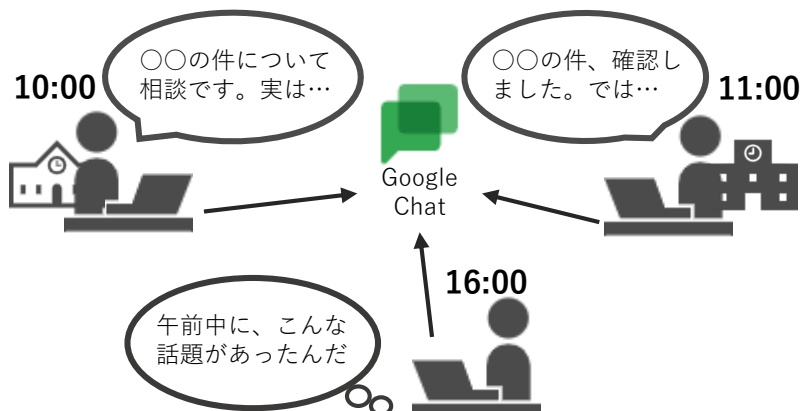
活用実践
県立宗像高等学校
皆川 有希子

他校の先生とのコミュニケーション

Before 移動・集合に伴う時間的・空間的制約があった。



After Chatならば気が付いたときに、すぐ投稿して気軽にやりとりができる。

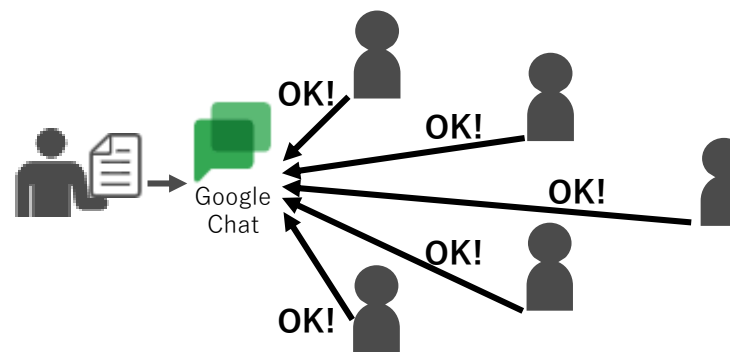


広報で用いる写真などの確認

Before 順番に確認するため時間がかかり、すぐに公開するのが難しかった。



After 投稿に気が付いた人から確認できるので、すぐに公開できる。



Google Chatは途中から参加したメンバーも過去の投稿を見ることができるため、意思決定・合意形成の過程を振り返ることが可能です。業務記録として活用することができます。ただし、投稿内容を後から編集できるため、重要な決定事項はPDFで残すなど工夫が必要です。

「電話をしても相手が授業中で連絡できない」「書面で伝達するため届くまでに数日かかる」など情報伝達に時間がかかる状況を、ICTを使って解決してみてもいいかもしれません。



le Chatと
le Classroomは
なところが違うのか。
Click here!

le Chatは
な場面で
できそうか。

高等学校
マネジメント

Click!

MAIN MENU